操作ガイド

■ 本製品の使い方全般について説明しています。
■ プリンタの準備がお済みでない方は『準備ガイド』をご覧ください。
■ 本書はプリンタの近くに置いてご活用ください。

基本操作をマスターしよう

消耗品とオプション製品について

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう各種専用紙やオプションをご用意しております。よりきれいに印刷するために、エプソン純正インクカートリッジ、エプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

消耗品

●インクカートリッジ

インクカートリッジ	インクカートリッジ大容量パック
型番：ICCL45	型番：ICCL45B
イメージ写真：パンダ	イメージ写真：パンダ

●インクカートリッジ＋写真用紙セット

インクカートリッジ&L判200枚セット	インクカートリッジ大容量パック&L判300枚セット
型番：ICCL45V	型番：ICCL45BV
イメージ写真：パンダ	イメージ写真：パンダ

●エプソン製専用紙

☞ 本書25ページ「印刷できる用紙」

オプション

商品名	型番
リチウムイオンバッテリ	MEALB2
Bluetooth ユニット	PMDBU3

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

マーク	説明
!注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

もくじ（つづき）

製品使用上のご注意

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に付属のその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品に付属のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品に付属のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		

設置上のご注意

本製品は、次のような場所に設置してください。

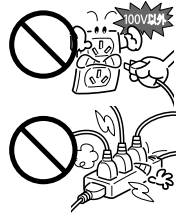
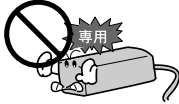
水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10～35℃ 20～80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。

⚠警告	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所には設置しないでください。** 火災・感電の原因となります。
	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子様の手の届くところ、他の機械の振動が伝わるところなどには、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	湿気・ホコリ・油煙の多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光のあたる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。 感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。
	本製品を次のような場所に置かないでください。 内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。 ・押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い所 ・じゅうたんや布団の上 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない

電源に関するご注意

<table>
<tr><td rowspan="5">⚠警告</td><td>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。</td><td></td></tr>
<tr><td>指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
また、電源コードのたこ足配線はしないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。家庭用コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。</td><td></td></tr>
<tr><td>破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードが破損したら、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
・電源コードを加工しない
・電源コードに重いものを載せない
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具の近くに配線しない</td><td></td></tr>
<tr><td>電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む</td><td></td></tr>
<tr><td>電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。</td><td></td></tr>
</table>

区分	内容	図
⚠警告	**付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。	
⚠注意	**電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	

AC アダプタに関するご注意

区分	内容	図
	付属の AC アダプタ（A381H）は屋内専用です。雨や水のかかるところでは使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	
	付属の AC アダプタは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。 発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。	
	本製品には必ず、付属の AC アダプタ（A381H）をお使いください。 付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあり、発煙や発火など危険な状態になる可能性があります。	
	AC アダプタを布団などで覆った状態で使用しないでください。 感電・火災・発煙・発火の原因となります。	
	電源コードで AC アダプタを吊り下げないでください。 感電・火災・発煙・発火の原因となります。	

⚠警告	**電源コードやACアダプタのコネクタにクリップなどの金属製のものを接触させないでください。** 感電・火災・発煙・発火の原因となります。	
⚠注意	**ACアダプタが汚れたときは、乾燥した布または水をつけて固くしぼった布でふき取ってください。** シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性製品は絶対に使用しないでください。	
	ACアダプタには電源スイッチが付いていません。 万一、接続機器側で異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。	

使用上のご注意

	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	
	通風口などの開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。	

⚠警告	**（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。** けがや感電・火災の原因となります。	
	航空機内や病院などの使用を制限された区域では、現場の指示（機内アナウンス等）に従ってください。	
⚠注意	**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。	
	各種ケーブル（コード）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。	
	本製品とコンピュータ（または他の機器）をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。 各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピュータ（または他の機器）側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。	
	本製品を保管 / 輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。	
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。	
	本製品を移動する場合は、安全のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><td rowspan="4">⚠注意</td><td>インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。
目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジを分解しないでください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは、お子様の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。</td><td></td></tr>
</table>

メモリカード使用時のご注意

■本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（付属のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

■動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- ・ 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 故障や修理のとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

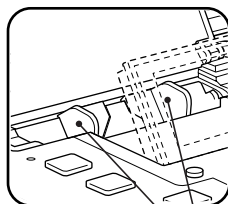
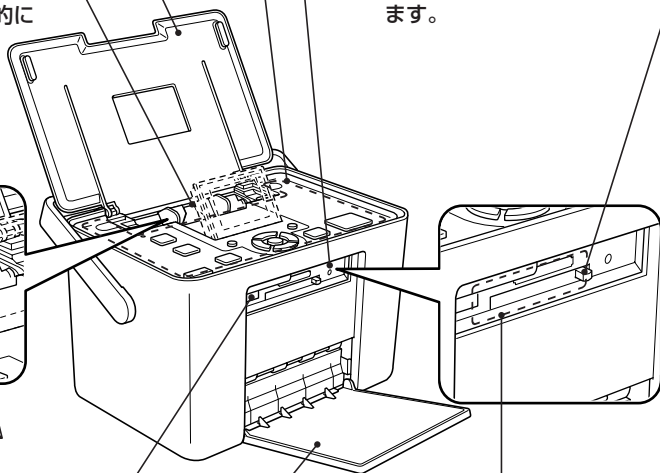
メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイについて

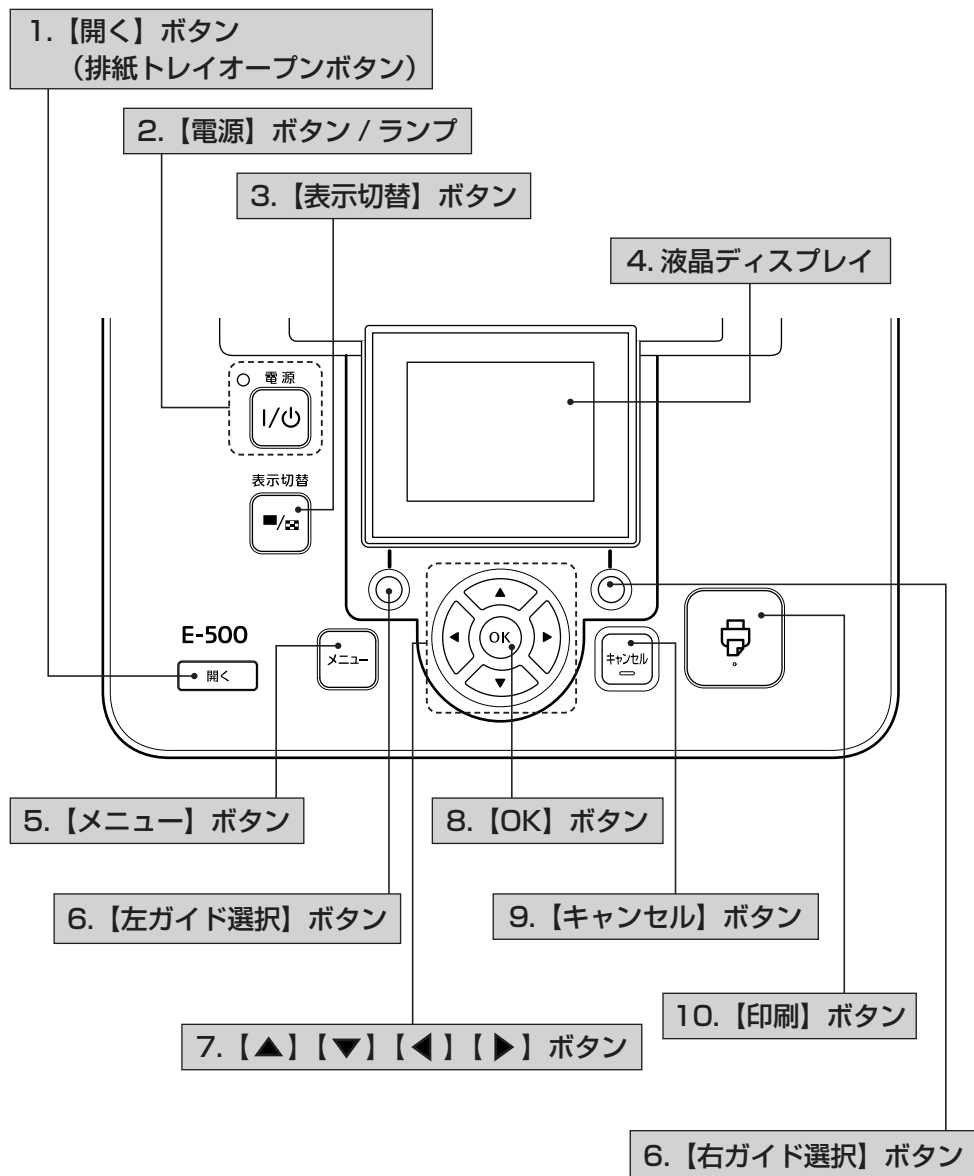
画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

各部の名称と働き

前面

操作パネル
印刷に関する各種設定や、印刷の開始 / 中止などを行う際に操作します。
本書 17 ページ「操作パネル部」
パネルカバー
本製品を使用しないときは、閉じてパネル部のホコリを防ぎます。
オートシートフィーダ
セットした用紙を自動的に給紙します。
メモリカードランプ
メモリカードがセットされているときに点灯し、アクセス中は点滅します。
メモリカード取り出しボタン
下段スロットに挿入したメモリカードを取り出します。
エッジガイド
用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。
赤外線通信ポート
携帯電話から直接印刷する際に、携帯電話の赤外線ポートをこのポートに向けてデータを送信します。
排紙トレイ
印刷された用紙を保持します。
メモリカードスロット
メモリカードを差し込むスロットです。セット可能なメモリカードについては、以下を参照してください。
本書 28 ページ「メモリカードのセット方法」

背面

電源コネクタ
AC アダプタのプラグを
接続します。
取っ手
本製品を持ち運ぶときにここを持
ちます。
使用時には邪魔にならないよう、
プリンタ背面側に倒しておきます。
バッテリカバー
バッテリ（別売）をセットすると
きに取り外します。
インク交換レバー
インクカートリッジの取り付け /
取り外しの際に操作します。
USB インターフェイスコネクタ
USB ケーブルでパソコンと接続する
ためのコネクタです。
インクカートリッジカバー
インクカートリッジの取り付け /
取り外しの際に開きます。
外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ
外部記憶装置や PictBridge/USB DIRECT-
PRINT 対応機器、Bluetooth ユニット（別売）
を接続するコネクタです。

操作パネル部

1.【開く】ボタン
（排紙トレイオープンボタン）
2.【電源】ボタン / ランプ
3.【表示切替】ボタン
4. 液晶ディスプレイ
電 源
表示切替
E-500
開く
メニュー
OK
キャンセル
5.【メニュー】ボタン
8.【OK】ボタン
6.【左ガイド選択】ボタン
9.【キャンセル】ボタン
10.【印刷】ボタン
7.【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
6.【右ガイド選択】ボタン

各部の名称と働き（つづき）

1. 【開く】ボタン（排紙トレイオープンボタン）
   排紙トレイを開きます。

2. 【電源】ボタン / ランプ
   本製品の電源をオン / オフします。
   ・ 電源オン：電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに画面が表示されます。
   ・ 電源オフ：電源ランプが消灯し、液晶ディスプレイの画面が消えます。

3. 【表示切替】ボタン
   液晶ディスプレイに一度に表示することのできる画像数を変更します。

4. 液晶ディスプレイ
   写真画像や設定、本製品の状態などを表示します。

5. 【メニュー】ボタン
   印刷の設定、本体の設定、メンテナンスなどを行います。

6. 【左ガイド選択】ボタン /【右ガイド選択】ボタン
   液晶ディスプレイに表示されたガイドを選択するボタンです。ガイドの持つ役割は表示されている画面ごとに異なります。

7. 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン
   写真や項目、設定値を選択するときなどに使用します。

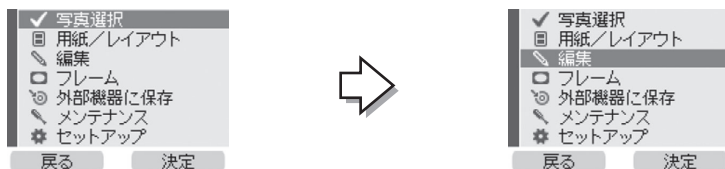
8. 【OK】ボタン
   選択 / 変更した設定を有効にします。
   写真選択画面では表示されている写真の印刷枚数を増やします。

9. 【キャンセル】ボタン
   ダイレクトプリント実行中に押すと、印刷を中止して用紙を排出します。印刷枚数、印刷設定は保持したまま印刷前の画面に戻ります。
   パソコンやデジタルカメラなどからの印刷中に押すと、印刷を中止して用紙を排出します。
   写真選択画面で押すと印刷設定をリセットします。
   メニュー操作中の設定をキャンセルして写真選択画面に戻ります。

10. 【印刷】ボタン
    印刷を開始します。

設定項目一覧

【メニュー】ボタンについて

操作パネルの【メニュー】ボタンを押すとメニュー画面が表示され、印刷の設定、本体の設定や調整ができます。

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示

②【▲】か【▼】ボタンで設定項目を選択
③【右ガイド選択】ボタンで決定

■写真選択

設定項目	設定値の詳細	参照先
すべて選択	本製品が読み込んでいるすべての写真を選択します。	本書 38 ページ
日付別で選択	特定の撮影日から写真を選択します。	本書 39 ページ
範囲選択	本製品が読み込んでいる写真のうち、印刷する写真の範囲（2 ～ 5 コマ目など）を指定して選択します。	本書 41 ページ
スライドショー選択	本製品が読み込んでいる写真を一定間隔で順次表示します。印刷したい写真が表示されたときに印刷枚数を設定します。	本書 43 ページ
読込元選択	メモリカードと外部記憶装置を同時にセットしているとき、どの機器から写真を本製品に読み込むかを選択します。	本書 86 ページ

設定項目一覧（つづき）

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

■用紙 / レイアウト

設定項目	設定値の詳細	参照先
用紙サイズ・種類	セットした用紙に合わせて用紙サイズ・種類を設定します。 L 判 写真用紙エントリー L 判 写真用紙 L 判 写真用紙クリスピア KG サイズ 写真用紙エントリー KG サイズ 写真用紙 KG サイズ 写真用紙クリスピア ハガキ ハイビジョンサイズ カード フォトシール	本書 34 ページ
レイアウト ※用紙サイズ・種類を設定すると、レイアウト設定画面に移ります。	用紙にどのような配置 / 面付けで印刷するかを設定します。 ※選択した用紙サイズ·種類によっては、表示されない（設定できない）レイアウトがあります。 1 面フチなし 1 面フチあり 上半分 2 面 4 面 インデックス（20 面） バックアップ用インデックス 証明写真 デジタルサイズ 1 面（フリーカット） 4 面（フリーカット） 9 面（フリーカット） マルチサイズ 9 面（フリーカット） マルチサイズ 10 面（フリーカット） 16 面（ミニフォト）	本書 35 ページ

■編集

設定項目	設定値の詳細		参照先
ズームアップ	写真の一部をズームアップして印刷します。		本書 49 ページ
自動画質補正	写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。 オートフォトファイン !EX、人物、P.I.M.、オフ		本書 51 ページ
画質調整	カラー設定	写真に色調の効果を加えて印刷します。 なし、モノクロ、セピア	本書 53 ページ
	明るさ	写真の明るさを調整して印刷します。 － 2、－ 1、0、1、2	本書 53 ページ
	鮮やかさ	写真の鮮やかさを調整して印刷します。 － 2、－ 1、0、1、2	本書 53 ページ
	シャープネス	写真のシャープさを調整して印刷します。 － 2、－ 1、0、1、2	本書 53 ページ
赤目補正	赤目になっている写真を補正して印刷します。 オン、オフ		本書 55 ページ
飾り	飾り付け	写真にいろいろな飾りを合成して印刷します。	本書 57 ページ
	飾り付け解除	写真と飾りの合成を解除します。	本書 59 ページ
画像回転	写真を回転して液晶ディスプレイに表示します。 回転なし、右 90 度回転、180 度回転、左 90 度回転		本書 92 ページ

■フレーム

設定項目	設定値の詳細	参照先
フレーム合成	写真にフレーム*（飾り枠）を合成して印刷します。	本書 60 ページ
フレーム合成解除	写真とフレームの合成を解除します。	本書 62 ページ
フレーム更新	メモリカードなどに保存したフレームデータを、本製品の内蔵メモリに追加したり、内蔵メモリからフレームデータを削除します。	本書 65 ページ

＊：写真データに重ね合わせるフレーム（飾り枠）のことを「P.I.F. フレーム」といいます。

設定項目一覧（つづき）

■外部機器に保存

設定項目	設定値の詳細	参照先
すべての写真	メモリカード内のすべての写真を外部記憶装置に保存します。	本書 84 ページ
選択した写真	写真選択画面で選択した写真を外部記憶装置に保存します。	本書 84 ページ

■メンテナンス

設定項目	設定値の詳細	参照先
ノズルチェック	目詰まり確認用のパターンを印刷します。	本書 108 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	本書 110 ページ
ギャップ調整	印刷品質を高めるための調整を行います。	本書 112 ページ
インク残量確認	インクカートリッジのインク残量を表示します。	本書 99 ページ
クリーニングシート通紙	クリーニングシートを通紙します。	本書 107 ページ

■セットアップ

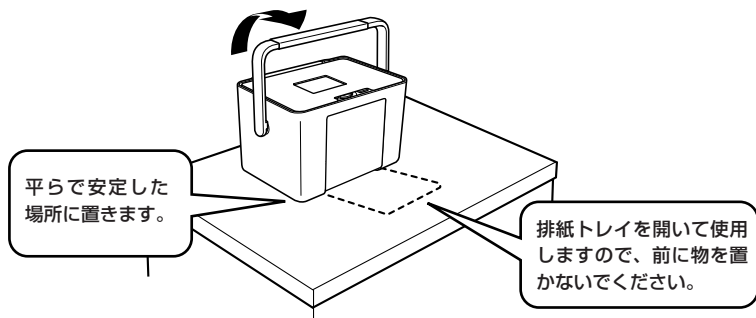
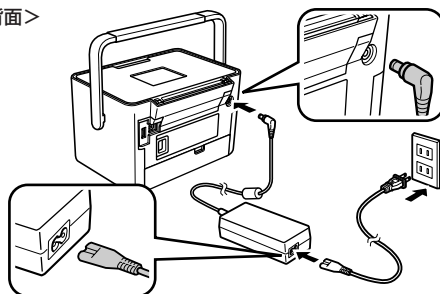
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定値の詳細</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>日付印刷設定</td><td colspan="2">写真に日付を入れて印刷します。
オン、オフ</td><td>本書 48 ページ</td></tr>
<tr><td>フチなしはみ出し量調整</td><td colspan="2">フチなし設定時の拡大率を調整します。
標準、少ない、より少ない</td><td>本書 88 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Bluetooth
※Bluetooth ユニット（別売）をセットするとすべての項目が有効となります。</td><td>各設定</td><td>Bluetooth の各設定を行います。
BT 本体番号、BT 通信モード、BT 暗号化、BT/ 赤外線通信パスキー</td><td>本書 75 ページ</td></tr>
<tr><td>BT デバイスアドレス表示</td><td>本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。</td><td>本書 78 ページ</td></tr>
<tr><td>外部機器印刷設定</td><td colspan="2">携帯電話 / デジタルカメラから印刷するときの印刷設定を行います。
用紙 / レイアウト、自動画質補正、画質調整、赤目補正、日付印刷設定</td><td>本書 68 ページ</td></tr>
</table>

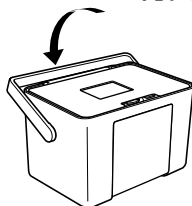
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定値の詳細</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>印刷後設定</td><td colspan="2">印刷終了時の印刷設定を保持するかどうかの設定を行います。
確認する、保持する、クリアする</td><td>本書 89 ページ</td></tr>
<tr><td>ユーザーお好み設定</td><td colspan="2">本製品の電源をオンにしたときの設定値を登録します。
用紙 / レイアウト、自動画質補正、赤目補正、カラー設定</td><td>本書 90 ページ</td></tr>
<tr><td>ビューア設定</td><td colspan="2">液晶ディスプレイに一度に表示する画像数を変更します。
15 面、6 面、1 面（印刷設定表示）、1 面（印刷設定非表示）</td><td>本書 91 ページ</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール位置調整</td><td colspan="2">ミニフォトシール印刷をするときの位置調整を 0.5mm 単位で行います。
上 2.5mm ～ 0.0mm ～下 2.5mm
右 2.5mm ～ 0.0mm ～左 2.5mm</td><td>本書 47 ページ</td></tr>
<tr><td>初期設定に戻す</td><td colspan="2">各設定を購入時の状態に戻す機能です。
※Bluetooth 各設定、ギャップ調整はリセットされません。</td><td>本書 94 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">操作音設定</td><td>バッテリ状態通知音</td><td>バッテリの状態をお知らせする音を鳴らすかどうかの設定をします。
オン、オフ</td><td>本書 93 ページ</td></tr>
<tr><td>エラー音</td><td>エラーが発生したときの音を鳴らすかどうかの設定をします。
オン、オフ</td><td>本書 93 ページ</td></tr>
<tr><td>ボタン操作音</td><td>操作できないボタンを押したときのボタン操作音を鳴らすかどうかの設定をします。
オン、オフ</td><td>本書 93 ページ</td></tr>
</table>

本体の設置と電源の接続方法

コンセントにつなぐ

1 プリンタを設置し、取っ手を上げます。

☞ 本書 7 ページ「設置上のご注意」

2 コンセントにつなぎます。

⚠警告	・ AC100V 以外の電源は使用しないでください。 指定以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

3 下図を参照し、取っ手をプリンタの背面側に倒します。

用紙のセット方法

印刷できる用紙

	用紙名称	サイズ	セット可能枚数	型番 / 入り数
エプソン製専用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	L 判	20 枚	KL50SCK（50 枚） KL100SCK（100 枚）
		KG サイズ	20 枚	KKG100SCK（100 枚）
	写真用紙＜光沢＞	L 判	20 枚	KL20PSK（20 枚） KL50PSK（50 枚） KL100PSK（100 枚） KL200PSK（200 枚） KL300PSK（300 枚） KL400PSK（400 枚）
		KG サイズ	20 枚	KKG100PSK（100 枚） KKG200PSK（200 枚）
		カードサイズ	20 枚	KC50PSK（50 枚）
		ハイビジョンサイズ	20 枚	KHV20PSK（20 枚）
	写真用紙＜絹目調＞	L 判	20 枚	KL20MSH（20 枚） KL100MSH（100 枚）
	写真用紙＜絹目調＞はがき	ハガキ＊1	20 枚	KH20MSH（20 枚） KH50MSH（50 枚）
	写真用紙エントリー＜光沢＞	L 判	20 枚	KL100SEK（100 枚） KL200SEK（200 枚） KL400SEK（400 枚）
		KG サイズ	20 枚	KKG100SEK（100 枚） KKG200SEK（200 枚）
	フォトシール フリーカット	ハガキ（全面）	1 枚	KH5PFC（5 枚）
	ミニフォトシール	ハガキ（16 分割）	1 枚	MJHSP5（5 枚）
市販の用紙	郵便ハガキ（インクジェット紙）＊2＊3	ハガキ	20 枚	
	郵便光沢ハガキ＊2＊3	ハガキ	20 枚	

＊ 1：宛名面はパソコンからの印刷にのみ対応

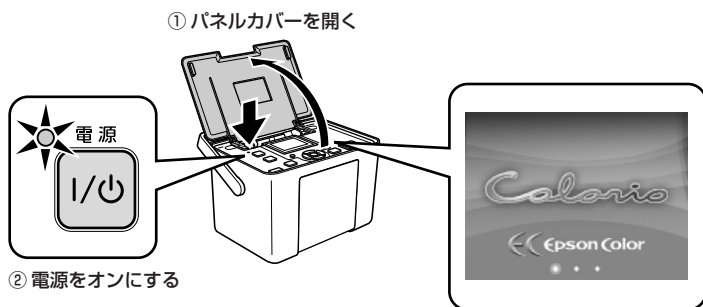
＊ 2：パソコンからの印刷にのみ対応

＊ 3：シールや写真を貼り付けたハガキは使用しないでください。

※「インクカートリッジ＆ L 判写真用紙」に付属の L 判写真用紙は「写真用紙エントリー＜光沢＞ L 判」と同じ設定で使用できます。

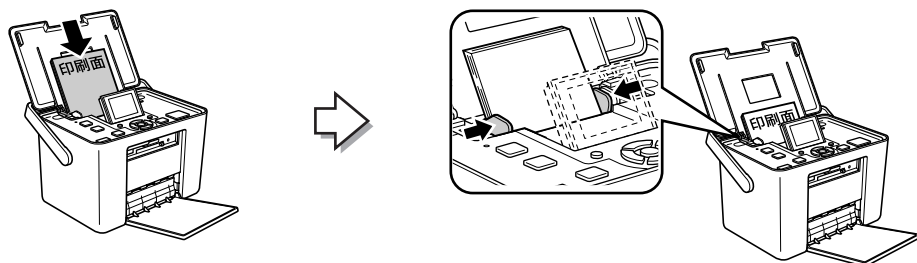
用紙のセット

1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。

2 排紙トレイを開き、液晶ディスプレイをお好みの角度に調整します。

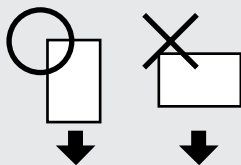
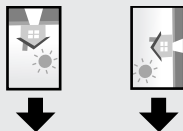
3 用紙を挿入し、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は印刷する面を手前にして、縦方向にセットしてください。横方向にセットすると正常に印刷できません。

☞ 本書 25 ページ「印刷できる用紙」

① 印刷する面を手前にしてセット

② 左右のエッジガイドを用紙の端に合わせる

！注意

- 用紙のセット方向
  用紙は縦方向にセットしてください。

  用紙の上下を区別する必要があるとき（ハガキ印刷時など）は、用紙の上端を下に向けてセットしてください。

- パソコンからのハガキ印刷時のご注意
  - 宛名面を印刷するときは、先に通信面を印刷してください。
    通信面の印刷が終わったら、しばらく乾かした後、反りを修正して平らにしてください。
  - 宛名面を印刷するときは、下端に 17mm の余白ができます。そのため、ハガキの種類によっては差出人の郵便番号枠に印刷できないものがあります。
    ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「年賀状／ハガキを印刷しよう」

- 郵便光沢ハガキで紙送りがうまくできないときは、付属の郵便光沢ハガキ用給紙補助シートを使用し、1 枚ずつ印刷してください。
  ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「その他のトラブル」

- 専用紙の表裏や取り扱い上のご注意について
  専用紙に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 試し印刷について
  使用する用紙種類によって印刷の仕上がりが異なりますので、大量に印刷する際には試し印刷を行うことをお勧めします。

メモリカードのセット方法

メモリカードのセット

使用できるメモリカードについては、以下をご覧ください。
☞ 本書 146 ページ「カードスロット仕様」

!注意

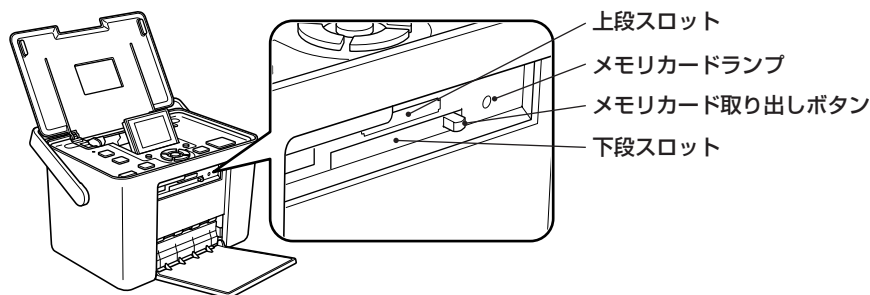
- 差し込み方向を誤るとメモリカードやプリンタの破損につながるおそれがあります。
- メモリカードランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- 下段スロットのメモリカード取り出しボタンは、メモリカードと同時に押さないでください。スロットが破損し、メモリカードを取り出せなくなるおそれがあります。
- メモリカードを挿入、または取り出すときは、本製品を手で支えて傾かないようにしてください。

1 パネルカバーと排紙トレイを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 2

2 メモリカードを 1 枚だけ挿入します。

メモリカードの種類によって挿入するスロットが異なります。お使いのメモリカードとスロットの位置を確認してください。メモリカードが正常に挿入されるとメモリカードランプが点灯します。
お使いのメモリカードを挿入するスロットは次ページの表で確認できます。

参考

- メモリカードを挿入してから認識されるまでに時間がかかることがあります。
- メモリカードをセットしても認識されないときは、メモリカードを取り出して、セットし直してください。
☞ 本書 30 ページ「メモリカードの取り出し」

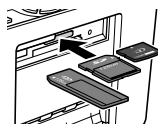
ほとんどのメモリカードには、差し込む向きを示す小さな三角印があります。

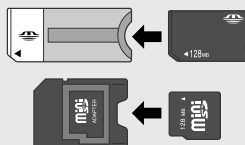
・ xD-Picture Card ™
・ xD-Picture Card ™ Type M
・ xD-Picture Card ™ Type H

上段スロット

・ メモリースティック
・ メモリースティック PRO
・ マジックゲートメモリースティック

・ マルチメディアカード

・ SD メモリーカード
・ SDHC メモリーカード

・ メモリースティック Duo＊
・ メモリースティック PRO Duo＊
・ マジックゲートメモリースティック Duo＊

・ miniSD カード*
・ miniSDHC カード*
・ microSD カード*
・ microSDHC カード*

＊：カード専用のアダプタにセットしてから、本製品のスロットに差し込んでください。

・ コンパクトフラッシュ

下段スロット

・ マイクロドライブ

上記は 2006 年 6 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページでご案内しています。
<http://www.epson.jp>

メモリカードの取り出し

メモリカードランプが点滅していないこと（点灯であること）を確認して、取り出してください。
※メモリカードを取り出すときは、本製品を手で支えて傾かないようにしてください。

■上段スロット

① カード中央部をカチッと音がするまで押す

② 出てきたメモリカードをまっすぐ取り出す

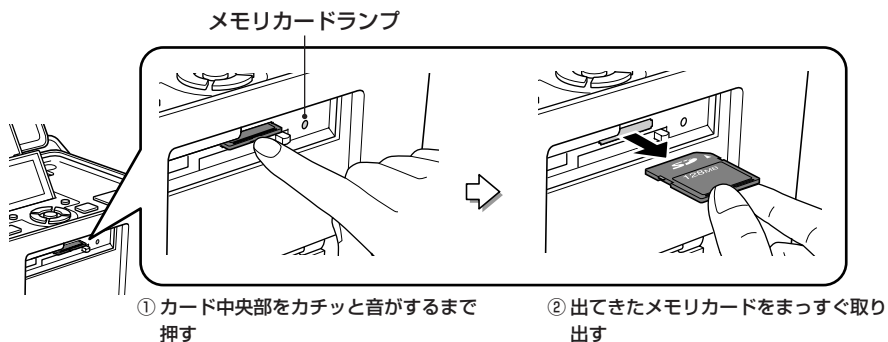
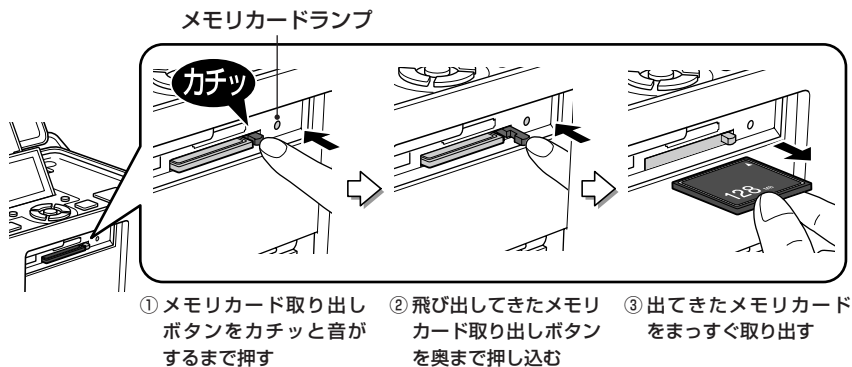
■下段スロット

① メモリカード取り出しボタンをカチッと音がするまで押す

② 飛び出してきたメモリカード取り出しボタンを奥まで押し込む

③ 出てきたメモリカードをまっすぐ取り出す

メモリカード印刷の基本手順

メモリカード印刷の流れ

ここではメモリカード印刷の基本的な手順を説明します。詳しい手順については『どこでも簡単プリントガイド』7 ページの「メモリカードから写真プリント」の章をご覧ください。

1 パネルカバーと排紙トレイを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 2

2 用紙をセットします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 3

3 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

4 印刷する写真を選択して、印刷枚数を設定します。

複数の写真に印刷枚数を設定するときは、以下の手順①と②を繰り返してください。

① 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで印刷する写真を選択

※ どの写真にも印刷枚数を設定していないときに【左ガイド選択】ボタンを押すと、すべての写真を選択できます

※【右ガイド選択】ボタンで各ボタンについてのヘルプを表示します

② 【OK】ボタンで印刷枚数を増やす

※【左ガイド選択】ボタンで印刷枚数を減らせます

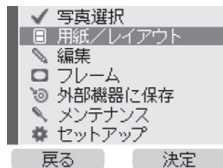
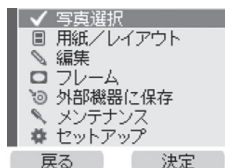
※ すべての写真を選択しているときは、印刷枚数の設定後に【右ガイド選択】ボタンを押して、印刷枚数を決定してください。

参考

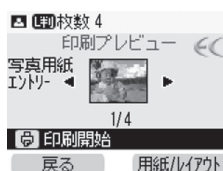
- 手順 4 の写真選択画面で一度に表示する写真の数を変更するときは、【表示切替】ボタンを押します。
  ☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」
- すべての写真の印刷枚数設定をリセットするときは、手順 4 の写真選択画面で【キャンセル】ボタンを押して、【右ガイド選択】ボタンを押します。
- メモリカード内に P.I.F. のレイアウトが関連付けされている写真がある場合は、関連付けを有効にするかどうかを選択する画面が表示されます。有効にしたときは、画面上に ▣ が表示され、各写真に関連付けされた P.I.F. レイアウトに従って印刷されます。
  ☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

5 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

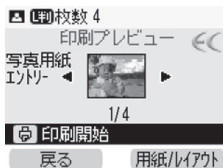
☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示

②【▲】か【▼】ボタンで［用紙 / レイアウト］を選択
③【右ガイド選択】ボタンで決定

6 印刷プレビューを確認します。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

②印刷プレビューを確認
※ 複数の写真を印刷するときは【◀】か【▶】ボタンで各写真のプレビューを確認できます。

7 印刷を実行します。

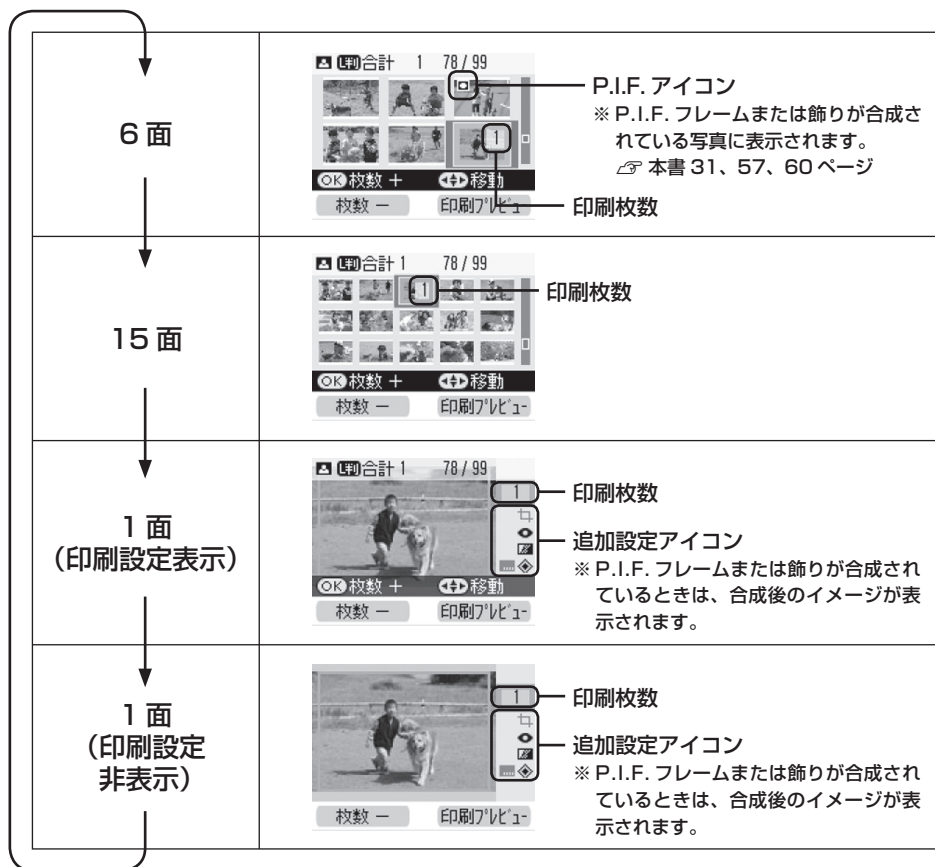
【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

①【印刷】ボタンで印刷を実行

8 印刷が終了したらメモリカードを取り出します。

メモリカードランプが点滅していないこと（点灯であること）を確認して、取り出してください。

☞ 本書 30 ページ「メモリカードの取り出し」

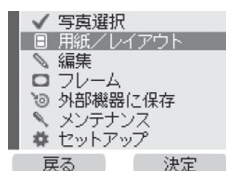
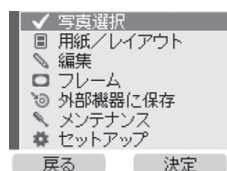
写真選択画面の表示切替

写真選択画面（本書 31 ページ手順 4）、フレーム選択画面（本書 61 ページ手順 5）で【表示切替】ボタンを押すたびに、以下のように画面表示が切り替わります。

追加設定アイコン	アイコンの意味	参照先
(ズームアップアイコン)	ズームアップが設定されている写真	本書 49 ページ
(自動画質補正アイコン)	自動画質補正が設定されている写真	本書 51 ページ
(画質調整アイコン)	画質調整が設定されている写真	本書 53 ページ
(赤目補正アイコン)	赤目補正がオンになっている写真	本書 55 ページ
(日付印刷アイコン)	日付印刷設定がオンになっている写真	本書 48 ページ

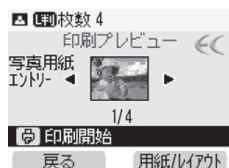
写真プリントの応用手順

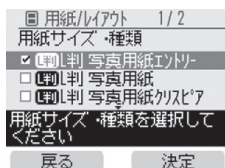
セットした用紙とレイアウトの設定方法

セットした用紙に合わせて用紙サイズ・種類と印刷するレイアウトを設定します。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示

②【▲】か【▼】ボタンで［用紙 / レイアウト］を選択
③【右ガイド選択】ボタンで決定

・［用紙 / レイアウト］は印刷プレビューからも選択できます。
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6

①【右ガイド選択】ボタンを押す

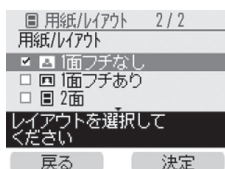
2 次ページの表を参照してセットした用紙サイズ・種類を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンでセットした用紙サイズ・種類を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

使用用紙対応表

セットした用紙	操作パネルでの設定値	アイコン
写真用紙クリスピア＜高光沢＞L 判	L 判 写真用紙クリスピア	L判
写真用紙クリスピア＜高光沢＞KG サイズ	KG サイズ 写真用紙クリスピア	KG
写真用紙＜光沢＞L 判	L 判 写真用紙	L判
写真用紙＜光沢＞KG サイズ	KG サイズ 写真用紙	KG
写真用紙＜光沢＞ハイビジョンサイズ	ハイビジョンサイズ	16:9
写真用紙＜光沢＞カード	カード	カード
写真用紙＜絹目調＞L 判	L 判 写真用紙	L判
写真用紙＜絹目調＞はがき	ハガキ	ハガキ
写真用紙エントリー＜光沢＞L 判	L 判 写真用紙エントリー	L判
写真用紙エントリー＜光沢＞KG サイズ	KG サイズ 写真用紙エントリー	KG
フォトシール フリーカット	フォトシール	シール
ミニフォトシール		

3 下表を参照して印刷するレイアウトを選択します。

用紙サイズ・種類の設定によって設定できるレイアウトは異なります。

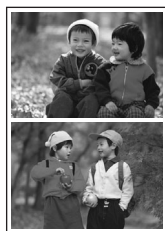
①【▲】か【▼】ボタンで印刷するレイアウトを選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

用紙サイズ・種類とレイアウトの設定値がアイコンで表示されます。

レイアウトの設定値と印刷イメージ

1 面フチなし

1 面フチあり

上半分

2 面

4 面

インデックス（20 面）＊1

バックアップ用インデックス＊2

証明写真

デジタルサイズ＊3

＊ 1：インデックス（20 面）では各写真の下に番号と日付が印刷されます。

＊ 2：L 判と KG サイズでは、割り付けられる写真の枚数が異なります。

＊ 3：デジタルカメラで撮った写真データを、縦横比を維持したまま、用紙に収まるように印刷します。

※1 面、4 面、9 面、マルチサイズ 9 面、マルチサイズ 10 面（フリーカット）、16 面（ミニフォト）については以下をご覧ください。

☞ 本書 46 ページ「フォトシール フリーカット / ミニフォトシールに印刷」手順 7

参考

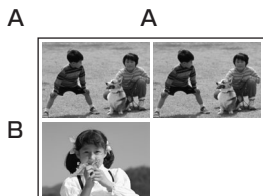
・［1 面フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になるときは、メニュー画面の［セットアップ］ではみ出し量を調整してください。
本書 88 ページ「フチなしはみ出し量の調整」

・写真データ

少し欠けます

・フチなしプリント

・2 面以上の面付けレイアウトを設定したときは、選択した写真が設定枚数ずつ順番に面付け（レイアウト）されます。

4 面レイアウトで写真 A を 2 枚、写真 B を 1 枚（合計 3 枚）選択した場合、右図のように印刷されます。

すべての写真を印刷

メモリカード内のすべての写真を選択します。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

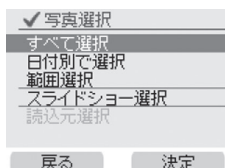
本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 メモリカードを 1 枚だけセットします。

本書 28 ページ「メモリカードのセット」

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[写真選択] を選択します。

本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 [すべて選択] を選択し、印刷枚数を設定します。

① 【▲】か【▼】ボタンで [すべて選択] を選択
② 【右ガイド選択】ボタンで決定

③ 【OK】ボタンで印刷枚数を増やす
※ 【左ガイド選択】ボタンで印刷枚数を減らせます
④ 【右ガイド選択】ボタンで決定

5 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

[用紙 / レイアウト] からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

6 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6～手順 7

日付で写真を選んで印刷

特定の撮影日から写真を選択します。
運動会や遠足など、イベントがあった日の写真を選ぶときに便利です。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

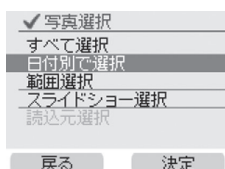
☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［写真選択］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 ［日付別で選択］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［日付別で選択］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

5 日付を選択します。

【表示切替】ボタンを押すと、表示形式を以下のように切り替えることができます。

日付リスト形式

選択 0
2000/11/13 1枚
2001/02/10 1枚
2001/08/16 2枚
2002/12/24 1枚
OK 選択 カレンダー
戻る 決定

①【▲】か【▼】ボタンで日付選択
②【OK】ボタンでチェック（☑）をつける
③【右ガイド選択】ボタンで決定

カレンダー形式

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで日付選択
②【OK】ボタンでチェック（✓）をつける
③【右ガイド選択】ボタンで決定

・ デジタルカメラでの撮影後、パソコンのアプリケーションなどでファイル保存し直された写真データは、ファイル保存した日付で表示されます。

6 印刷枚数を設定します。

本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 4

① 【OK】ボタンで印刷枚数を増やす
※【左ガイド選択】ボタンで印刷枚数を減らせます
② 【右ガイド選択】ボタンで決定

7 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

[用紙 / レイアウト] からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

8 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6～手順 7

写真（コマ番号）の範囲を指定して印刷

メモリカード内の写真のうち、印刷する写真の範囲（2 ～ 5 コマ目など）を指定して選択します。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

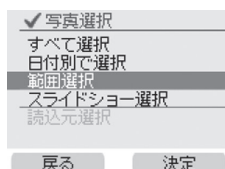
☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[写真選択] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 [範囲選択] を選択します。

① 【▲】か【▼】ボタンで［範囲選択］を選択
② 【右ガイド選択】ボタンで決定

5 始めの写真（どの写真から）と終わりの写真（どの写真まで）を選択します。

① 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで始めの写真を選択
② 【右ガイド選択】ボタンで決定

③ 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで終わりの写真を選択
④ 【右ガイド選択】ボタンで決定

6 印刷枚数を設定します。

① 【OK】ボタンで印刷枚数を増やす
※【左ガイド選択】ボタンで印刷枚数を減らせます
② 【右ガイド選択】ボタンで決定

7 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

8 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6～手順 7

スライドショーから写真を選択して印刷

本製品に読み込んでいる写真を一定間隔で順次表示します。印刷したい写真が表示されたら印刷枚数を設定します。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

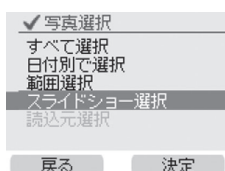
☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[写真選択]を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 [スライドショー選択]を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで[スライドショー選択]を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

5 印刷したい写真が表示されたら印刷枚数を設定します。

複数の写真を印刷するときは、以下の手順①～③を繰り返してください。

①【右ガイド選択】ボタンでスライドショーを一時停止
※【左ガイド選択】ボタンでスライドショーを中止し、写真選択画面に戻ります

②【OK】ボタンで印刷枚数を増やす
※【左ガイド選択】ボタンで印刷枚数を減らせます
③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンのいずれかを押すとスライドショー再開

6 スライドショーを終了し、写真選択画面を表示します。

①【右ガイド選択】ボタンでスライドショーを一時停止
②【右ガイド選択】ボタンで印刷枚数を決定

7 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト]を選択します。

[用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

8 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6～手順 7

フォトシール フリーカット / ミニフォトシールに印刷

エプソン製専用紙「フォトシール フリーカット」、「ミニフォトシール」（ハガキサイズ）に写真を印刷し、オリジナルシールを作ります。

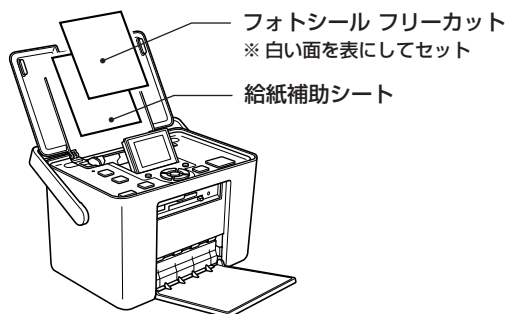
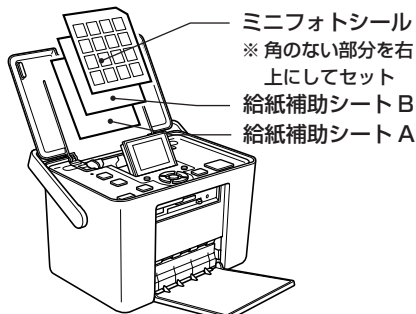
1 パネルカバーと排紙トレイを開き、電源をオンにします。

本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1 〜手順 2

2 フォトシール フリーカット、ミニフォトシールをセットします。

フォトシール フリーカット、ミニフォトシールに付属の「給紙補助シート」を下に敷いて、1 枚ずつセットしてください。

本書 26 ページ「用紙のセット」手順 3

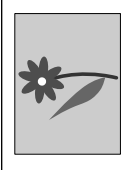
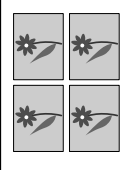
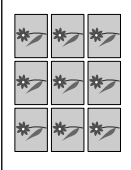
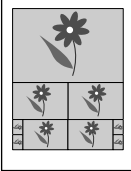
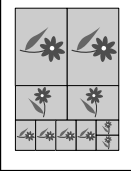
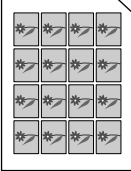
<フォトシール フリーカットの場合>

<ミニフォトシールの場合>

3 メモリカードを 1 枚だけセットします。

本書 28 ページ「メモリカードのセット」

4 印刷する写真を選択して、印刷枚数を設定します。

本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 4

5 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」手順 1

6 [用紙サイズ・種類] の設定値から [フォトシール] を選択します。

本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」手順 2

7 下表を参照して［レイアウト］の設定値を選択します。

本書 35 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」手順 3

レイアウト

1 面（フリーカット）

4 面（フリーカット）

9 面（フリーカット）

マルチサイズ 9 面（フリーカット）

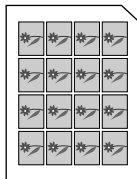
マルチサイズ 10 面（フリーカット）

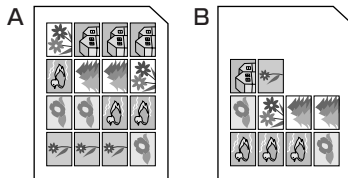
16 面（ミニフォト）

※ ミニフォトシールは、［16 面（ミニフォト)］のみに対応しています。
フォトシール フリーカットはすべてのレイアウトに対応しています。

参考

印刷レイアウトについて

・ 写真を 1 つだけ選んで印刷した場合

同じ写真がすべての面にレイアウトされます。

・ 写真を複数選んで印刷した場合

選択した写真が、設定枚数分ずつレイアウトされます。設定枚数によっては B 図のように余白ができる場合があります。

※ レイアウト［マルチサイズ 9 面 /10 面］で印刷する場合は、同じ写真がすべての面にレイアウトされます。

フォトシール フリーカットの余白について

フォトシール フリーカットはフチなし印刷に対応していません。余白については下図をご覧ください。

- 1 面選択時の余白：左右 各 8.5mm/ 上下 各 17mm

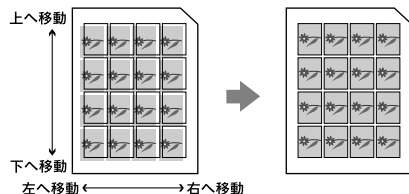
8 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

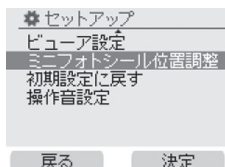
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 ～手順 7

ミニフォトシールの位置調整

ミニフォトシール印刷時に、シール部分と印刷の位置がずれてしまう場合には、以下の手順で印刷位置の調整をしてください。

上下左右の移動方向は右図のとおりです。移動の調整は 0.5 mm単位で上 2.5 mmから下 2.5 mmまで、左 2.5 mmから右 2.5 mmまでできます。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ]を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 [ミニフォトシール位置調整]の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで[ミニフォトシール位置調整]を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで設定
④【右ガイド選択】ボタンで決定

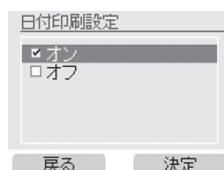
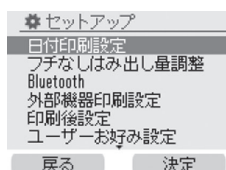
日付を入れて印刷

1 パネルカバーと排紙トレイを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1 〜手順 2

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して［日付印刷設定］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［日付印刷設定］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オン	年、月、日の順で日付を印刷します。　例）2006.02.14
オフ（購入時の設定）	日付を入れずに印刷します。

※2 面以上のレイアウト、1 面フチあり（KG サイズを除く）、フォトシールのレイアウトでは、日付印刷設定が適用されません。

4 写真を印刷します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」

・ デジタルカメラでの撮影後、パソコンのアプリケーションなどでファイル保存し直された写真データは、ファイル保存した日付が印刷されます。

ズームアップして印刷

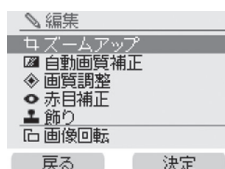
写真の一部をズームアップして印刷します。

1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1 〜手順 4

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [ズームアップ] を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ズームアップ］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

4 ズームアップする範囲を設定します。

ズーム倍率は 0.1 刻みで 3.0 倍まで設定できます

ズーム枠

①【右ガイド選択】ボタンで拡大
※【左ガイド選択】ボタンで縮小できます
※【表示切替】ボタンでズーム枠を回転できます

②【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでズーム枠を移動
③【OK】ボタンで決定

5 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト]を選択します。

[用紙 / レイアウト] からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

6 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 〜手順 7

画質を自動補正して印刷

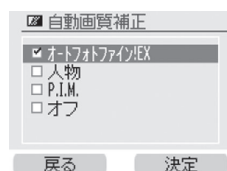
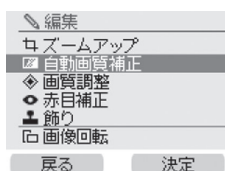
写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。

1 **本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。**

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1 〜手順 4

2 **【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。**

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 **下表を参照して [自動画質補正] の設定値を選択します。**

①【▲】か【▼】ボタンで [自動画質補正] を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オートフォトファイン !EX (購入時の設定)	画像に合わせて最適な補正をして印刷します。 写真データに Exif Print*の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた補正も行います。
人物	人物写真に適した色合いに自動補正します。
P.I.M.	PRINT Image Matching (プリントイメージマッチング) 機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。
オフ	自動補正しません。

＊: Exif Print (イグジフプリント) 機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加される撮影情報です。

4 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。
☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

5 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 〜手順 7

色合いや画質を調整して印刷

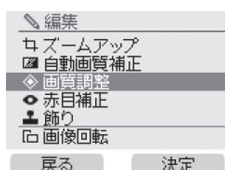
写真に色調の効果を加えたり、画質を調整して印刷します。

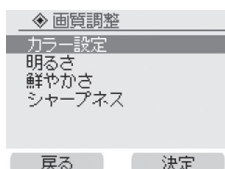
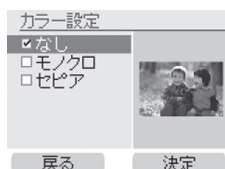
1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1 〜手順 4

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集]を選択します。

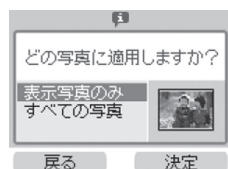
☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [画質調整]を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで[画質調整]を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

4 次ページの表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで項目を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

画質調整項目	設定値
カラー設定 写真に色調の効果を加えて印刷します。	なし：色調の効果を加えずに印刷します。 モノクロ：モノクロで印刷します。 セピア：セピア色で印刷します。
明るさ 写真の明るさを調整して印刷します。	－2（より暗く）、－1（暗く）、0（標準）、1（明るく）、2（より明るく）
鮮やかさ 写真の鮮やかさを調整して印刷します。	－2（よりくすんだ）、－1（くすんだ）、0（標準）、1（鮮やか）、2（より鮮やか）
シャープネス 写真のシャープさを調整して印刷します。	－2（ソフトフォーカス強）、－1（ソフトフォーカス弱）、0（標準）、1（シャープネス弱）、2（シャープネス強）

5 どの写真にこの設定を反映するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

6 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

[用紙 / レイアウト] からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。
☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

7 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 ～手順 7

赤目写真を自動的に補正して印刷

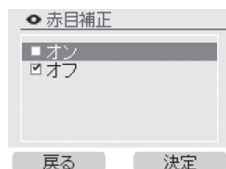
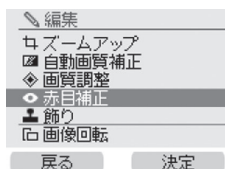
赤目になっている写真を自動補正して印刷します。

1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1 〜手順 4

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

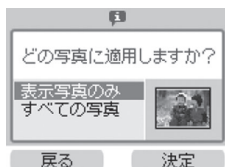
☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して [赤目補正] の設定値を選択します。

赤目補正
オン
オフ
戻る
決定

①【▲】か【▼】ボタンで [赤目補正] を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

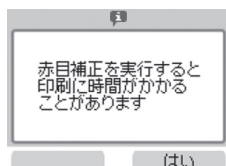
③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
オン	赤目になっている写真を自動補正します。
オフ（購入時の設定）	赤目補正を行いません。

4 どの写真にこの設定を反映するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

・ 画像によっては赤目以外の部分が補正されることがあります。

5 以下の確認画面が表示されたらメッセージを確認します。

※ この画面は、手順 4 で［すべての写真］を選択したときに表示されます。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

6【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

7 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。

☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 〜手順 7

写真に飾りを合成して印刷

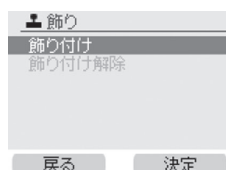
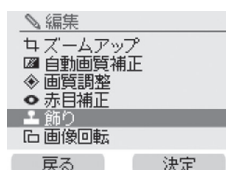
写真にいろいろな飾りを合成して印刷します。

1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1～手順 4

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［編集］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［飾り］画面から［飾り付け］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［飾り］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［飾り付け］を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

4 飾り一覧から合成する飾りを選択します。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで合成する飾りを選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

参考

・ すでにフレームが合成されている写真を選択しているときは、フレームを解除してもよいかどうかの確認画面が表示されます。
※ フレームが合成されている写真には▣またはフレームが表示されます。
☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

5 写真の好きな位置に飾りを配置します。

※ 飾りを写真の端に配置すると、飾りの一部が印刷されないことがあります。

①【右ガイド選択】ボタンで飾りを拡大
※【左ガイド選択】ボタンで飾りを縮小できます

②【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで飾りを移動
③【OK】ボタンを押す
※【表示切替】ボタンで飾りを回転できます

6 飾りの配置を終了し、写真に飾りを合成します。

①【OK】ボタンで決定
※ 続けて飾りを配置するときは、【右ガイド選択】ボタンを押して、手順 4 の画面に戻ります。
※ 1 つの写真に最大 4 個の飾りを配置することができます。

※ 写真選択画面に戻ると、対象の写真に▣または配置した飾りが表示されます。
☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

7 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。
☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

8 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 〜手順 7

写真と飾りの合成を解除

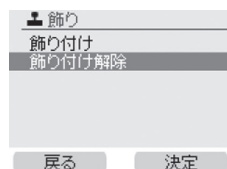
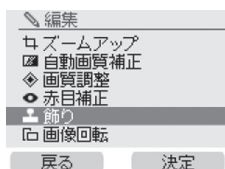
1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、飾りの合成を解除する写真を表示します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 4

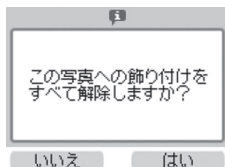
・ 飾り付けがされている写真には▣または飾りが表示されます。
☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [飾り] 画面から [飾り付け解除] を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで [飾り] を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで [飾り付け解除] を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

4 写真と飾りの合成をすべて解除します。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

写真プリントの応用手順

写真にフレームを付けて印刷 <P.I.F. 印刷 >

エプソンの PRINT Image Framer は、写真データにフレーム*（飾り枠）や年賀状 / カレンダーなどのレイアウト*（書式）を合成して、楽しい印刷ができます。
＊：写真データに合成するフレームやレイアウトのデータを「P.I.F. フレーム」といいます。

1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、印刷する写真を表示します。

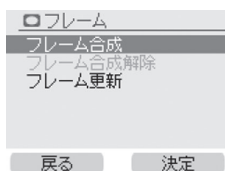
本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1 〜手順 4
P.I.F. フレームを保存したメモリカードをセットしたときは、手順 5 のフレーム選択画面に表示されます。
P.I.F. フレームのメモリカードへの保存方法は以下をご覧ください。
本書 63 ページ「内蔵フレームの書き換え ①フレームデータの準備」

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［用紙 / レイアウト］を選択します。

［用紙 / レイアウト］からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。
本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

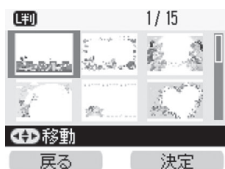
3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［フレーム］を選択します。

本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 ［フレーム合成］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フレーム合成］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

参考

・ すでに飾りが合成されている写真を選択しているときは、飾り付けを解除してもよいかどうかの確認画面が表示されます。
※ 飾り付けされている写真にはまたは飾りが表示されます。
本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

5 合成するフレームを選択します。

©Disney

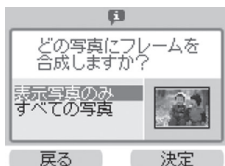
①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで合成するフレームを選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 手順 5 の画面では、設定されている用紙 / レイアウトに対応したフレームのみ表示されます。
  ☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」
- ［用紙サイズ / 種類］で［フォトシール］を選択したときは、用紙の下端 17mm は印刷範囲外になります。フォトシール フリーカット専用の P.I.F. フレーム（フチに模様が入っていないフレーム）をご使用ください。

※ ハガキ用のフレームを選択すると、写真およびフレームの全体を印刷することができません。

- フレーム選択画面で【表示切替】ボタンを押すと画面表示が 6 面、15 面、1 面（印刷設定表示）、1 面（印刷設定非表示）と切り替わります。
  ☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

6 どの写真に選択したフレームを合成するかを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

※ 写真選択画面に戻ると、対象の写真に◘または合成したフレームが表示されます。
☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

7 印刷を実行します。

【右ガイド選択】ボタンで印刷プレビューを確認し、【印刷】ボタンを押して印刷を実行します。
☞ 本書 32 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 6 ～手順 7

写真とフレームの合成を解除

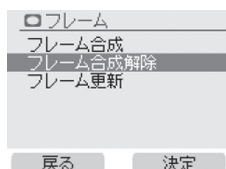
1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、フレームの合成を解除する写真を表示します。

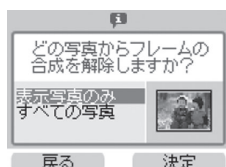
☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 4

・ フレームが合成されている写真には▣が表示されます。
☞ 本書 33 ページ「写真選択画面の表示切替」

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［フレーム］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 ［フレーム合成解除］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フレーム合成解除］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

4 どの写真からフレームの合成を解除するかを選択し、実行します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

内蔵フレームの書き換え ①フレームデータの準備

本製品に内蔵されているP.I.F.フレームを、エプソンのホームページ、または付属の『ソフトウェアCD-ROM』から入手したものに書き換えることができます。
ここでは、書き換え用のフレームデータを準備します。

参考

・ メモリカードにフレームデータを保存するには、本製品とパソコンを接続して、ソフトウェアをインストールしておく必要があります。
☞ 本書 133 ページ「ドライバの再インストール」

■メモリカードを使用する場合

1 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

2 パソコンで、エプソンのホームページ、または『ソフトウェア CD-ROM』から、P.I.F. フレームを入手します。

< http://www.epson.jp/pif/ >

3 付属のアプリケーションソフト「EPSON PRINT Image Framer Tool」を起動します。

< Windows の場合>
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON PRINT Image Framer］－［EPSON PRINT Image Framer Tool］の順にクリックします。
< Mac OS X の場合>
ハードディスク内の［アプリケーション］－［PRINT Image Framer Tool］－［PRINT Image Framer Tool］の順にダブルクリックします。

4 P.I.F. フレームをメモリカードに保存します。

☞「EPSON PRINT Image Framer Tool」のヘルプ

5 保存が終了したら、一旦メモリカードを取り出します。

参考

- プリンタ単体で印刷する場合は、フレームの枠が 1 つのものを使用してください。複数の枠があるものは印刷できません。
  ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタ単体で写真にフレームを付けて印刷しよう」
- 「EPSON PRINT Image Framer Tool」では、オリジナルの P.I.F. フレームを作成することもできます。

■ソフトウェア CD-ROM を使用する場合

本製品に付属の「ソフトウェア CD-ROM」にはいろいろな P.I.F. フレームが収録されています。CD ドライブを外部記憶装置として接続し、ソフトウェア CD-ROM をセットすることで、収録されている P.I.F. フレームを読み込むことができます。

☞ 本書 65 ページ「内蔵フレームの書き換え ②書き換え方法」

内蔵フレームの書き換え ②書き換え方法

1 P.I.F. フレームを保存したメモリカードまたは外部記憶装置を本製品にセットします。

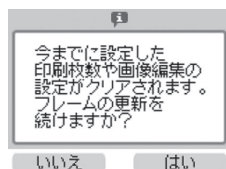
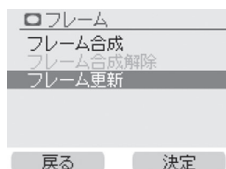
CD ドライブを外部記憶装置として接続すると、『ソフトウェア CD-ROM』を CD ドライブにセットすることで、収録されている P.I.F. フレームを読み込むことができます。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット方法」
☞ 本書 80 ページ「外部記憶装置について」

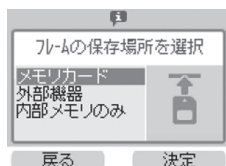
2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[フレーム] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

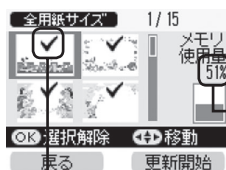
3 [フレーム更新] を選択します。

☞ 本書 21 ページ「【メニュー】ボタンについて」

①【▲】か【▼】ボタンで［フレーム更新］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③表示されたメッセージを確認し、【右ガイド選択】ボタンを押す

4 フレームデータが保存されている機器を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンでフレームデータが保存されている機器を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

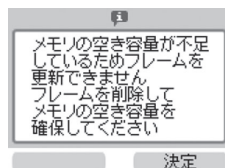
写真プリントの応用手順

5 P.I.F. フレームの一覧から、本製品に追加したいフレームまたは削除したいフレームを設定します。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで追加するフレームを選択
②【OK】ボタンでフレームにチェックを付ける

本製品の P.I.F. フレーム保存用メモリの使用量を表示しています。
100% を超えるとグラフが赤く表示されます。

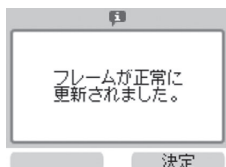
本製品に内蔵されているフレームには、すでにチェックが付いています。
【OK】ボタンでチェックを外すと本製品から削除することができます。

参考

- メモリ使用量 100% を超えて保存しようとすると、手順 6 で右のメッセージが表示されます。
- 本製品には、P.I.F. フレームを最大 60 個*保存できます。
  ＊：ただし合計 8MB まで
- 本製品に内蔵されている P.I.F. フレームは、すべて『ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。

6【右ガイド選択】ボタンを押して、内蔵フレームの更新を実行します。

！注 意

- 内蔵フレーム更新中は、本製品を動かしたり、操作しないでください。正常に更新されないことがあります。

7 内蔵フレームの更新を終了します。

①【右ガイド選択】ボタンを押して内蔵フレームの更新を終了

デジタルカメラで指定した写真を印刷 <DPOF 印刷 >

デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「枚数」を指定することができます。指定した写真の印刷手順は次のとおりです。

参考

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver 1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。
- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20面）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常の印刷両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

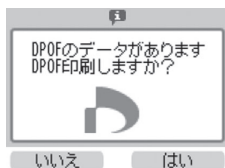
☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

3 確認画面が表示されたら【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[用紙 / レイアウト] を選択します。

[用紙 / レイアウト] からセットした用紙とレイアウトの設定を行います。

☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

4 【右ガイド選択】ボタンを押して印刷を実行します。

DPOF 印刷には [ユーザーお好み設定] の [自動画質補正] の設定値が反映されます。

☞ 本書 90 ページ「ユーザーお好み設定」

携帯電話 / デジタルカメラからの印刷

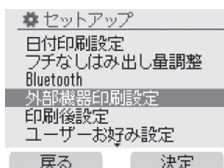
印刷設定

携帯電話 / デジタルカメラなどから印刷するときの印刷設定を行います。

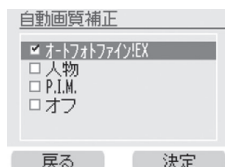
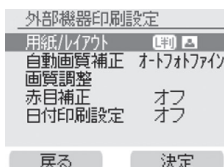
1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [外部機器印刷設定] を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで [外部機器印刷設定] を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

4 次ページの表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定項目	設定項目の詳細	参照先
用紙 / レイアウト	セットした用紙に合わせて用紙サイズ・種類と印刷するレイアウト*を設定します。	本書 20 ページ 本書 34 ページ
自動画質補正	写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。	本書 51 ページ
画質調整	写真に色調の効果を加えたり、画質を調整して印刷します。	本書 53 ページ
赤目補正	赤目になっている写真を補正して印刷します。	本書 55 ページ
日付印刷設定	写真に日付を入れて印刷します。	本書 48 ページ

＊：［レイアウト］で［フレーム］を選択すると、フレーム合成を行うことができます。フレーム合成については以下をご覧ください。

☞ 本書 61 ページ「写真にフレームを付けて印刷＜ P.I.F. 印刷＞」手順 5

携帯電話から直接印刷<赤外線通信>

携帯電話の赤外線通信機能を使い、ワイヤレスで印刷することができます。
印刷可能な携帯電話については、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

印刷可能なデータと適切な用紙サイズ

携帯電話から赤外線経由で送信される以下のデータを、所定のフォーマット（レイアウト）で印刷します。
※お使いの携帯電話によって、印刷できるデータやメニュー名称などが異なります。

印刷可能なデータと印刷形式		適切な用紙サイズ
電話帳（vCard）	1 件印刷	L 判 /KG サイズ / ハガキ / カード
電話帳（vCard）	全件印刷	L 判 /KG サイズ / ハガキ
画像（JPEG 画像のみ対応）		L 判 /KG サイズ / ハガキ / カード

印刷イメージ

■ 電話帳 1 件印刷（カード）

画像データがある場合、このように印刷されます。

■ 電話帳全件印刷（L 判 /KG サイズ / ハガキ）

画像データがある場合、このように印刷されます。
※テキストデータのみの場合、最大 1000 件の電話帳を印刷できます。
画像データがある場合は、件数が少なくなります。
※左図は L 判サイズに印刷した場合の例です。

■ JPEG 画像

印刷の際、本製品の操作パネルで各種印刷設定ができます。

携帯電話からの印刷方法

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選択します。

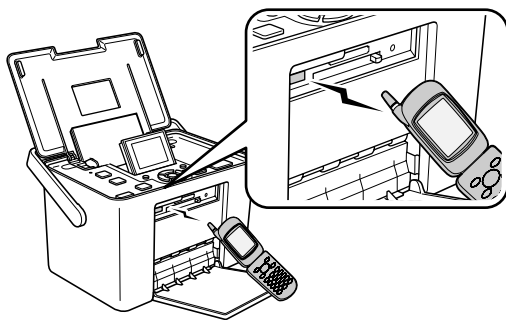
☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [外部機器印刷設定] を選択します。

印刷設定を行います。

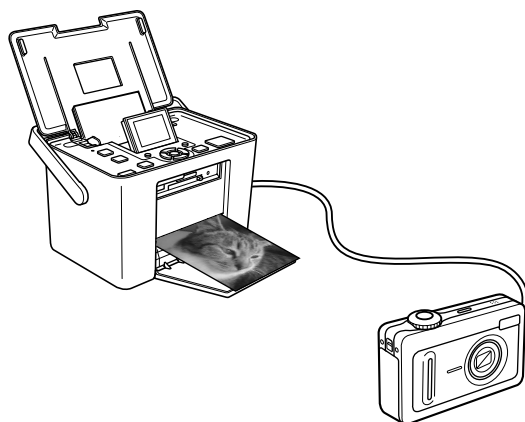
☞ 本書 68 ページ「印刷設定」

4 携帯電話からデータを送信して、印刷を実行します。

携帯電話の赤外線ポートを、本製品の赤外線ポートに向けて（20cm 以内に近付けて）送信してください。正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の直下などの場所では、正常に通信できない場合があります。
- 画像データの送信時は、印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。
- 電話帳全件送信の際、携帯電話の機種によっては、暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定した BT/ 赤外線通信パスキーの値（4 桁の数字）を入力してください。
  本製品の［BT/ 赤外線通信パスキー］の設定をしていない場合、初期値の「0000」となります。
  ☞ 本書 75 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

デジタルカメラから USB 接続で印刷

「USB DIRECT-PRINT」、または「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷することができます。本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
<http://www.epson.jp>
なお、デジタルカメラからダイレクトプリントを行う際の注意事項をご確認ください。
本書 148 ページ「ダイレクト印刷仕様」

USB DIRECT-PRINT 対応のデジタルカメラ

PictBridge 対応のデジタルカメラ

※上記のどちらかの規格に対応したデジタルカメラから印刷できます。

1 電源をオンにして、用紙をセットします。

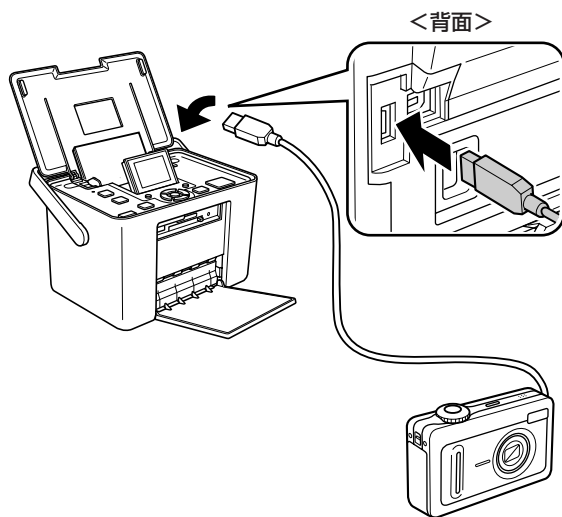
本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1～手順 3

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選択します。

本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

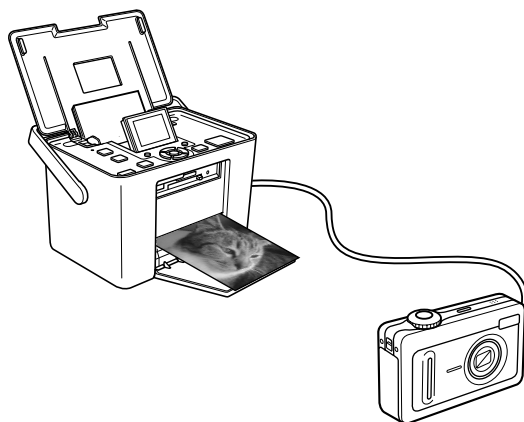
3 [外部機器印刷設定] を選択します。

印刷設定を行います。
本書 68 ページ「印刷設定」

4 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

5 デジタルカメラで各種設定をします。

デジタルカメラの操作方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

①印刷する写真と枚数を設定します。
②お好みでその他の項目を設定します。

6 デジタルカメラから印刷を実行します。

Bluetooth でワイヤレス印刷＜ Bluetooth ユニット−別売−＞

別売の Bluetooth ユニット（型番：PMDBU3）を使うと、対応したデジタルカメラやパソコンなどから、ワイヤレスで印刷を実行できます。

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル*に対応している必要があります。

＊：Bluetooth 通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

■ BIP（Basic Imaging Profile）

- JPEG 画像*に対応。
  ＊：最大 2.5MB
- 本製品の操作パネルで、印刷の設定（写真の選択と印刷枚数の設定を除く）ができます。
- 一度に送信できるデータは 1 件です。
- 印刷中のデータを含め、10 件まで*印刷予約できます。
  ＊：ただし合計 3MB まで。

■ OPP（Object Push Profile）

- JPEG 画像、および vObject に対応。
  ☞ 本書 70 ページ「印刷可能なデータと適切な用紙サイズ」
- 本製品の操作パネルでダイレクト印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。

■ HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

■ BPP（Basic Printing Profile）

- BPP 規定の通信手順に従って、XHTML-Print ドキュメントの印刷ができます。
- XHTML-Print ドキュメント形式で対応する画像は JPEG（Exif）、PNG、BMP になります。
- 送信相手が選択した通信方法によって、操作パネルの設定が有効になる場合と、携帯電話側での設定が有効になる場合があります。

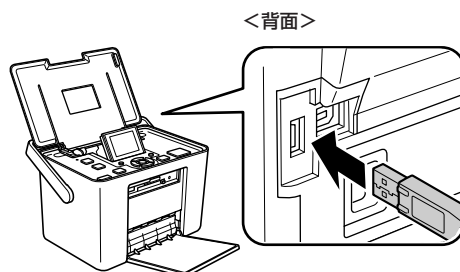
参考

・ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetooth ユニットと通信することはできません。
・通信可能な Bluetooth 製品については、エプソンのホームページでもご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

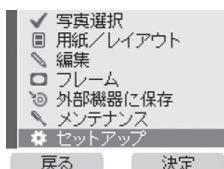
Bluetooth ユニットの通信設定

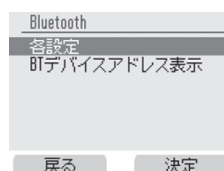
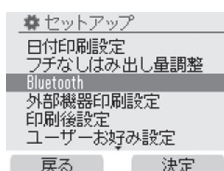
1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1

2 本製品に Bluetooth ユニットを接続します。

① Bluetooth ユニットを接続

3 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示します。

4 ［セットアップ］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［セットアップ］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

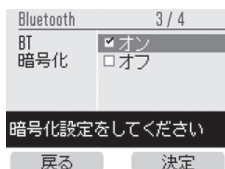
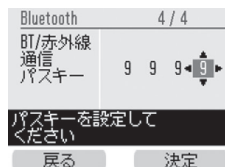
5 ［Bluetooth］から［各設定］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［Bluetooth］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［各設定］を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

6 76 ページから 77 ページの表を参照して順番に設定します。

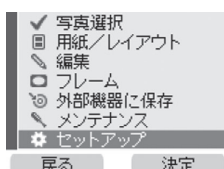
※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

BT 本体番号	【設定値と機能】 ・ 0 ～ 9（初期値：1） Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応の製品がある場合に、本体番号を設定することで、本製品を見分けることができます。 【設定方法】 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【右ガイド選択】ボタンで次へ 設定後に電源を一旦オフにすることで、設定が有効になります。
BT 通信モード	【設定値と機能】 ・ パブリック Bluetooth 対応の製品から検索と印刷ができます。 ・ プライベート Bluetooth 対応の製品から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。 ・ ボンディング Bluetooth 対応の製品から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。 【設定方法】 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【右ガイド選択】ボタンで次へ ※【左ガイド選択】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります

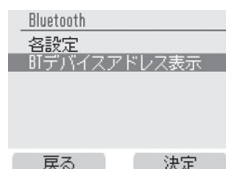
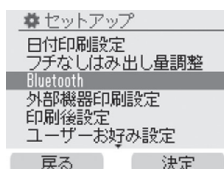
BT 暗号化	【設定値と機能】 ・ オン / オフ ［オン］に設定すると、通信の内容を暗号化できます。パスキーの入力が必要になります。 【設定方法】 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【右ガイド選択】ボタンで次へ ※【左ガイド選択】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります
BT/ 赤外線通信パスキー	【設定値と機能】 ・ 任意の 4 桁の数字（初期値：0000） パスキーを設定すると、印刷を実行する際にデジタルカメラなどでパスキー（任意の 4 桁の数字）を入力する必要があります。 他の Bluetooth 製品からの混信を防ぐ場合などに使います。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［オン］に設定してください。 【設定方法】 ①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択 ②【▶】か【◀】ボタンで桁を変更 ※【左ガイド選択】ボタンで 1 つ前の項目に戻ります ③ すべての桁を設定したら【右ガイド選択】ボタンで決定 ④ 確認画面が表示されたら【右ガイド選択】ボタンを押して、設定終了

Bluetooth デバイスアドレス表示

本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。
Bluetooth 通信アドレスは変更できません。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示します。

2 ［セットアップ］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［セットアップ］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

3 ［Bluetooth］から［BT デバイスアドレス表示］を選択します。

Bluetooth
各設定
BTデバイスアドレス表示
戻る
決定

①【▲】か【▼】ボタンで［Bluetooth］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［BT デバイスアドレス表示］を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

4 Bluetooth デバイスアドレスを表示します。

① デバイスアドレスを確認し、【右ガイド選択】ボタンを押す
※ プリンタごとにデバイスアドレスは異なります。

※ 本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。

印刷方法

印刷前に Bluetooth ユニットの接続と通信設定を行ってください。
☞ 本書 75 ページ 「Bluetooth ユニットの通信設定」

1 用紙をセットします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 2～手順 3
HCRP プロファイルの場合は手順 4 に進みます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 [外部機器印刷設定] を選択します。

印刷設定を行います。
☞ 本書 68 ページ「印刷設定」

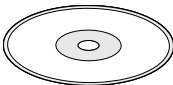
・ BIP では、あらかじめ選択した写真を印刷するため、本製品ではほかの写真を印刷することはできません。

4 お使いの Bluetooth 対応の製品での設定を行い、印刷を実行します。

設定方法はお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

5 プリンタがデータを受信して印刷が始まります。

データを受信すると、操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されます。

・ 通信範囲は約 10m ですが、通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。
・ 印刷中に Bluetooth ユニットを取り外さないでください。プリンタが誤作動するおそれがあります。
・ 操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されないときは、Bluetooth ユニットの通信設定を確認してください。
☞ 本書 75 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

メモリカードのデータを保存（バックアップ）

デジタルカメラで撮影した写真データを残しておきたい、でもメモリカードがいっぱいになるから削除しないと･･･そんな時は、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CD や USB フラッシュメモリなど）に保存することができます。また、保存したデータを印刷することもできます。

外部記憶装置について

使用できる外部記憶装置、およびメディアは、下表のとおりです。ただし、すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。

＜ http://www.epson.jp ＞

外部記憶装置	使用できるメディア
CD-R ドライブ DVD-R ドライブ	CD-R　650/700MB DVD-R　4.7GB ※CD-RW、DVD+R、DVD ± RW、DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ*	MO　128/230/640MB、1.3GB ※DOS/Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

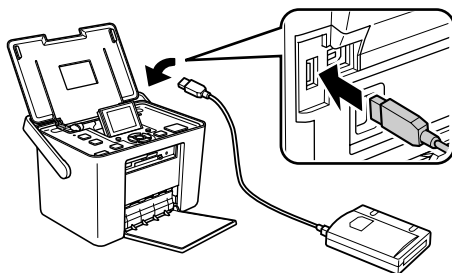
＊： USB バスパワー対応の MO ドライブは AC アダプタをお使いください。

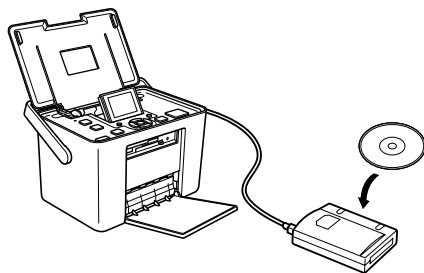
外部記憶装置の接続方法

メモリカードのデータを外部記憶装置に保存するときは、必ず本製品に AC アダプタを接続してください。バッテリ（別売）のみでの保存はできません。

■ CD/DVD/MO ドライブの場合

1 本製品と外部記憶装置の電源をオフにします。

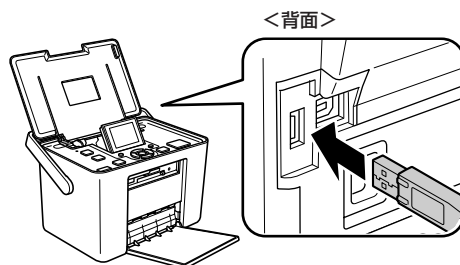
2 外部機器接続コネクタに、外部記憶装置の USB ケーブルを差し込みます。

3 本製品と外部記憶装置の電源をオンにします。

4 外部記憶装置にメディア（CD/DVD/MO）をセットします。

便利な機能

■ USB フラッシュメモリの場合

1 本製品のパネルカバーを開き、電源をオンにします。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1

2 本製品に USB フラッシュメモリを接続します。

① USB フラッシュメモリを接続

保存（バックアップ）方法

1 メモリカードを 1 枚だけセットします。

☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット」

2 外部記憶装置を接続します。

☞ 本書 81 ページ「外部記憶装置の接続方法」

3 保存する写真を選択して、【OK】ボタンを押します。

複数の写真を保存するときは、以下の手順①と②を繰り返してください。
すべての写真を保存したいときは、手順 3 を行わず、手順 4 に進みます。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで保存する写真を選択

②【OK】ボタンで保存する写真を設定
※【左ガイド選択】ボタンで設定を解除できます

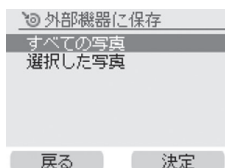
参考

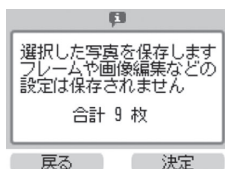
・ 1 つの写真を重複して保存することはできません。

1 つの写真に対して枚数を何枚に設定しても、保存される写真は 1 枚のみです。

4 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[外部機器に保存] を選択します。

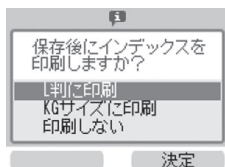
☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

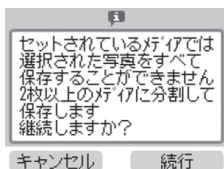
5 手順 3 で保存する写真を選択しているときは［選択した写真］を、すべての写真を保存するときは［すべての写真］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

6 保存する写真の枚数を確認します。

①【右ガイド選択】ボタンで決定

7 保存する写真のインデックス（一覧）を印刷するかどうかを選択します。

インデックスを印刷するときは、印刷できる用紙の中から L 判または KG サイズをセットし、セットした用紙サイズを選択してください。

☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

・本製品では、外部記憶装置にバックアップしたデータは、削除できません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください。
CD-R/DVD-R のデータはパソコンからも削除することはできません。
・保存する写真データの合計サイズが外部記憶装置にセットしたメディアの容量を上回っているときは、2 枚以上のメディアに分割して保存するかどうかの確認画面が表示されます。

①【右ガイド選択】ボタンを押して、2 枚以上のメディアに分割して保存
※ 分割して保存しない場合は【左ガイド選択】ボタンを押してバックアップを中止します

8 手順 7 で写真のインデックス（一覧）を印刷する設定をしているときは、保存完了後に写真のインデックス（一覧）が印刷されます。

保存したデータの印刷方法

1 外部記憶装置を接続し、保存したデータの入ったメディアをセットします。

本書 81 ページ「外部記憶装置の接続方法」

参考

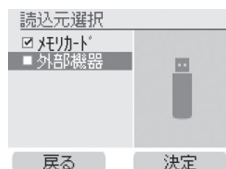
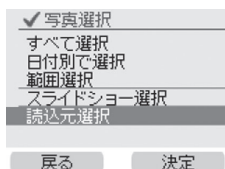
- 本製品以外で保存したデータは正常に印刷できない場合があります。
- ファイル容量が 3MB を超える画像*を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から直接印刷せずに、メモリカードから印刷、またはパソコンから印刷することをお勧めします。
  本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」
  ＊：6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2 用紙をセットします。

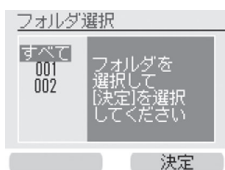
本書 26 ページ「用紙のセット」手順 3

3 写真選択画面にならないときは【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［写真選択］を選択します。

本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

4 ［読込元選択］から［外部機器］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［読込元選択］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで［外部機器］を選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

5 以下の画面が表示されたときは、印刷する写真の含まれるフォルダを選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

6 印刷したい写真を選択して、印刷を実行します。

☞ 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 4～手順 7

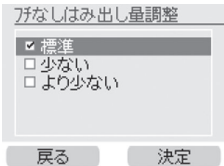
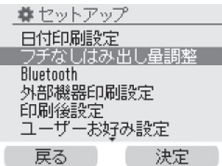
フチなしはみ出し量の調整

［1 面フチなし］レイアウトで印刷すると、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になるときは以下の手順でフチなしはみ出し量を調整します。

☞ 本書 37 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 下表を参照して［フチなしはみ出し量調整］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［フチなしはみ出し量調整］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

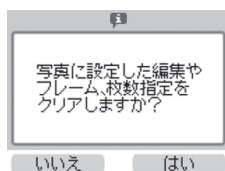
③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細
標準 （購入時の設定）	フチなし標準の拡大率で印刷します。フチが完全になくなります。
少ない	フチなし標準より少なめの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。
より少ない	フチなしギリギリの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。 ※［より少ない］を選択すると「余白ができる場合がある」旨の確認メッセージが表示されます。

印刷設定の一時保存 / 登録

印刷後設定

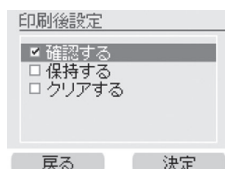
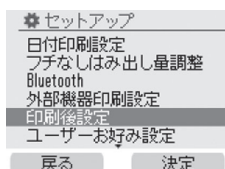
■印刷後設定とは？

通常、印刷枚数やレイアウトなどの印刷に関する設定は、印刷終了後に保持され、同じ設定で再度印刷できます。これは［印刷後設定］の初期設定値が［保持する］に設定されているためです。
しかし、［印刷後設定］を［クリアする］に設定しておくと、印刷に関する設定は、印刷終了後にクリアされます。また、［確認する］に設定しておくと、印刷終了後に以下の画面が表示され、設定を［ユーザーお好み設定］に戻すかどうかを選択できるようになります。

［印刷後設定］で一時保存された設定は、以下のタイミングでクリアされます。
- プリンタの電源をオフにしたとき
- メモリカードを取り出したとき
- 写真選択画面で【キャンセル】ボタンを押したとき

■設定方法

1　【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2　［印刷後設定］の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［印刷後設定］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

ユーザーお好み設定

本製品の電源をオンにしたときの設定値を登録しておくことができます。
「普段はＬ判写真用紙しか印刷しない」、「写真は常にモノクロで印刷する」など、特定のご使用方法が決まっているときには、以下の手順で印刷設定を登録しておくと便利です。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 ［ユーザーお好み設定］を選択します。

セットアップ
日付印刷設定
フチなしはみ出し量調整
Bluetooth
外部機器印刷設定
印刷後設定
ユーザーお好み設定
戻る　決定

①【▲】か【▼】ボタンで［ユーザーお好み設定］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

3 下表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択
②【右ガイド選択】ボタンで次の設定項目に進む

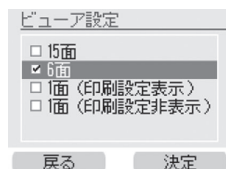
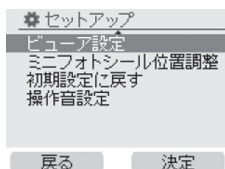
設定項目	設定項目の詳細	参照先
用紙 / レイアウト	セットした用紙とレイアウトを設定します。	本書 20 ページ 本書 34 ページ
自動画質補正	写真を最適な色合いに自動補正して印刷します。	本書 51 ページ
赤目補正	赤目になっている写真を補正して印刷します。	本書 55 ページ
カラー設定	写真に色調の効果を加えて印刷します。	本書 53 ページ

写真選択画面の表示設定

写真選択画面の表示形式を設定します。
この設定は電源をオフにしても保持されます。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[セットアップ]を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 下表を参照して[ビューア設定]の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで[ビューア設定]を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

設定値	設定値の詳細	参照先
15 面	写真を 1 画面に 15 枚表示します。	本書 33 ページ
6 面 （購入時の設定）	写真を 1 画面に 6 枚表示します。	
1 面 （印刷設定表示）	写真を 1 画面に 1 枚のみ表示します。 印刷設定の情報を表示します。	
1 面 （印刷設定非表示）	写真を 1 画面に 1 枚のみ表示します。 印刷設定の情報は表示されません。	

写真を回転して表示

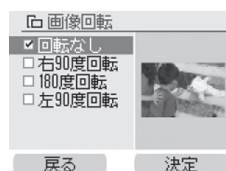
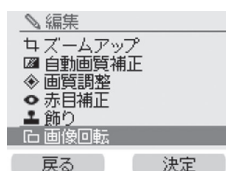
写真を任意の角度に回転して、液晶ディスプレイに表示します。
※この設定は、印刷結果には反映されません。

1 本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」の手順に沿って、回転する写真を表示します。

本書 31 ページ「メモリカード印刷の流れ」手順 1～手順 4

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、[編集] を選択します。

本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

3 下表を参照して [画像回転] の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで [画像回転] を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

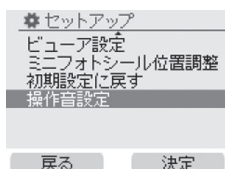
設定値	設定値の詳細
回転なし（購入時の設定）	回転を行いません。
右 90 度回転	写真を右に 90 度回転します。
180 度回転	写真を 180 度回転します。
左 90 度回転	写真を左に 90 度回転します。

操作音の設定

バッテリ状態通知音やエラー音、ボタン操作音のオン / オフを設定します。

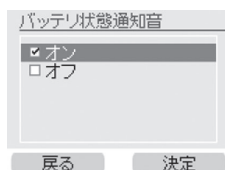
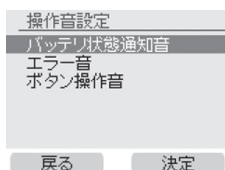
1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

2 ［操作音設定］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［操作音設定］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

3 下表を参照して、各項目の設定値を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

バッテリ状態通知音
☑オン
☐オフ
戻る
決定

③【▲】か【▼】ボタンで選択
④【右ガイド選択】ボタンで決定

※下線付きの項目は、初期設定値（購入時の設定）です。

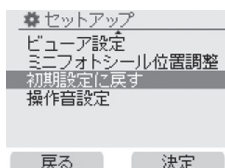
設定項目	設定値
バッテリ状態通知音	オン：オプションのリチウムイオンバッテリ（MEALB2）使用時にバッテリ残量が 40% を下回ったときに音を鳴らします。 オフ：バッテリ状態通知音を鳴らしません。
エラー音	オン：インク量が限界値以下になったとき、または印刷時に用紙がセットされていないときに音を鳴らします。 オフ：エラー音を鳴らしません。
ボタン操作音	オン：操作できないボタンを押したときに音を鳴らします。 オフ：ボタン操作音を鳴らしません。

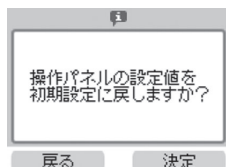
設定値のリセット

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
※Bluetooth 各設定、外部機器印刷設定、ギャップ調整はリセットされません。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［セットアップ］を選択します。

☞ 本書 19 ページ「【メニュー】ボタンについて」

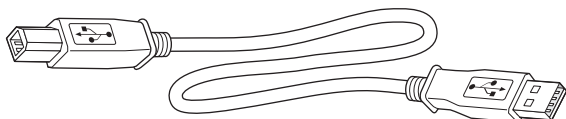
2 ［初期設定に戻す］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［初期設定に戻す］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

3 画面を確認し、リセットを実行します。

①【右ガイド選択】ボタンで決定

パソコンとつないで印刷する

プリンタとパソコンをつなげる

接続方法

パソコンとプリンタを接続します。接続するには USB ケーブルが必要です。

参考

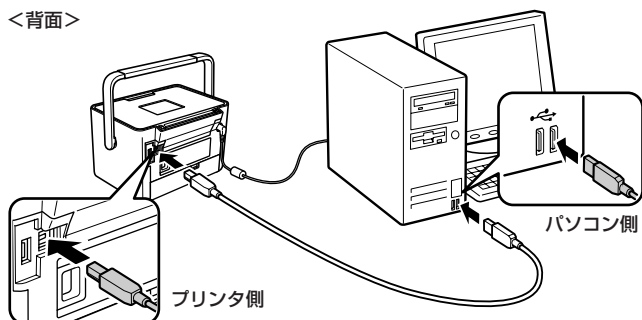
・ USB ケーブルは別売です。EPSON 純正の USB ケーブル（型番：USBCB2）のご使用をお勧めします。

1 本製品の電源をオフにします。

2 本製品のパネルカバーを閉じて取っ手を上げます。

3 USB ケーブルで本製品とパソコンをつなぎます。

USB ケーブルは、差し込み口の形状を確認し、奥までしっかりと差し込んでください。

<背面>

参考

・ ご利用のパソコンによって接続するコネクタの位置が異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
・ パソコン本体に USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んでもかまいませんが、ディスプレイやキーボードに付いている USB コネクタの差し込み口には接続しないでください。正常に認識されない場合があります。
・ USB ハブを使用している場合は、パソコンに直接接続されているハブに、プリンタを接続してください。

4 本製品の取っ手を背面側に倒し、パネルカバーを開きます。

パソコンの準備（ソフトウェアのインストール）

インストール条件について

インストール条件	インストール時の アカウントについて
Windows 98/Me/2000/XP プレインストールモデル（または、Windows 98 以降のプレインストールモデルを上記にアップグレードしたパソコン） ※Windows 98（Windows 98 Second Edition は除く）では、プリンタドライバのみ動作可能です。これ以外のソフトウェアはインストールされますが、使用できません。	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
Mac OS X v10.2.8 以降で、USB I/F を標準搭載している Macintosh	

※他のアプリケーションソフトやウィルスチェックプログラムを起動している場合は、インストールを開始する前にすべて終了してください。

参考

・ 本製品には「EPSON Easy Photo Print」が付属しています。このソフトウェアを使うと、印刷したい写真を簡単に選んできれいに印刷することができます。

!注意

・ インストール中に「古いバージョンの EPSON Easy Photo Print がインストールされている」旨のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってソフトウェア CD-ROM に収録されている新しいバージョンの EPSON Easy Photo Print をインストールしてください。古いバージョンの EPSON Easy Photo Print では、Epson Color などの機能が正常に動作しません。

インストールの手順

パソコンにソフトウェア CD-ROM をセット

画面の指示に従ってインストールを進めます。

上の画面が表示されない場合は以下をご覧ください。

- Windows XP：
  ［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- Windows 2000：
  デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

参考

- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されているときは、【キャンセル】ボタンをクリックして画面を閉じ、本製品の電源をオフにしてください。
- インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

ソフトウェアの使い方について

ソフトウェアの使い方については、活用＋サポートガイド（電子マニュアル）をご覧ください。

活用＋サポートガイドとは

活用＋サポートガイドとはパソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。ソフトウェアのインストールの際、同時にパソコンにインストールされます（CD-ROM を毎回セットする必要はありません）。

パソコンの画面上で見るマニュアル

・ 活用＋サポートガイドは、Internet Explorer（Version 5.0以上）などのブラウザでご覧いただけます。また、PDF データをダウンロードしてご覧いただくこともできます。ダウンロードサービスについては、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.epson.jp/guide/ink/>

活用＋サポートガイドの表示方法

デスクトップ上の［EPSON E-500 活用＋サポートガイド］のアイコンをダブルクリックして表示します。

・ Windows の場合
①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON］－④［EPSON E-500 活用＋サポートガイド］の順にクリックします。
・ Mac OS X の場合
①［ハードディスク］－②［アプリケーション］－③［EPSON_TPMANUAL］－④［E-500］－⑤［活用＋サポートガイド］の順にダブルクリックします。

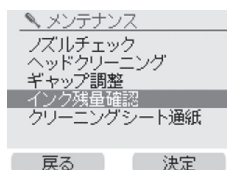
インクカートリッジの交換

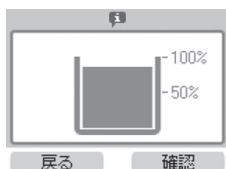
インク残量の確認

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［メンテナンス］を選択します。

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されているときは、インク残量の表示はできません。インクカートリッジを交換してください。

☞ 本書 103 ページ「インクカートリッジの交換方法」

2 ［インク残量確認］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［インク残量確認］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで確認

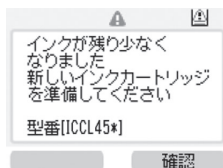
3 インク残量が表示されます。

インク残量が十分な状態

インク残量が少ない状態

4 残量を確認したら、【右ガイド選択】ボタンを押して、確認画面を閉じます。

・インク残量が少なくなると、液晶ディスプレイ上に右図のようなアイコンが表示されます。
必要に応じて、新しいインクカートリッジをご用意ください。

新しいインクカートリッジの用意

インクが残り少なくなると、インク残量表示で「⚠」マークが表示されたり、印刷時のメッセージ画面に「インク残量が少なくなりました」と表示されます。
しばらくは印刷できますが、インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると印刷できなくなります。
お早めに新しいインクカートリッジをご用意ください。

■エプソンのインクカートリッジ純正品型番

インクカートリッジ：ICCL45
インクカートリッジ大容量パック：ICCL45B

インクカートリッジと写真用紙のセットもございます。
インクカートリッジ＆Ｌ判 200 枚セット：ICCL45V
インクカートリッジ大容量パック＆Ｌ判 300 枚セット：ICCL45BV

参考

- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使うと印刷品質に悪影響が出るなど、製品本来の性能を発揮できない場合があります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジ交換時のご注意

⚠ 注意

・ インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。
・ インクカートリッジを分解しないでください。
・ インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
・ インクカートリッジは、お子様の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

■使用上のご注意

- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジは取り付ける直前に開封してください。開封したまま長時間放置すると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。なお、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部分を下にするか横にして保管してください（インク供給孔部を上にして保管しないでください)。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部に付いたインクで周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。
- インクカートリッジのラベル類は、絶対にはがさないでください。ラベルをはがすとインクが漏れるおそれがあります。

■保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。

■交換時のご注意

- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶していますが、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク残量は変わりません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中は電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄りの回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

使用済みインクカートリッジの回収について

■インクカートリッジの回収にご協力ください

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取り扱い店に設置しています。
回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。
最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

■使用済みインクカートリッジの回収によるベルマーク運動

ベルマーク運動参加校は、学校単位での使用済みカートリッジの回収数量に応じて、一定のベルマークポイントが付与されます。これにより、資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図るとともに、教育支援活動に参画しています。
詳細はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/toner/ >

インク消費について

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。
・ 印刷前に行われるセルフクリーニング時
・ プリントヘッドのクリーニング時
※初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されます。

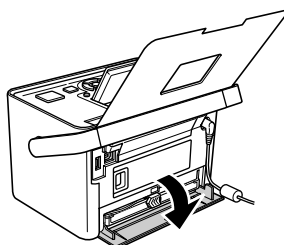
インクカートリッジの交換方法

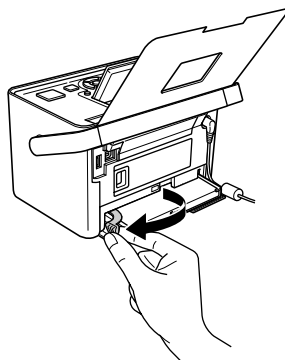
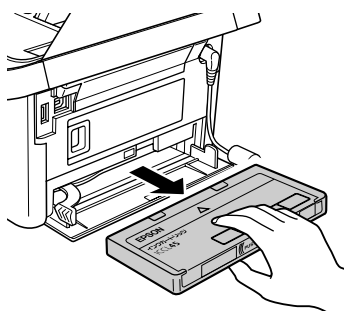
インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると、印刷ができなくなります。インクカートリッジを交換してください。エプソンの純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。

☞ 本書巻頭「消耗品とオプション製品について」

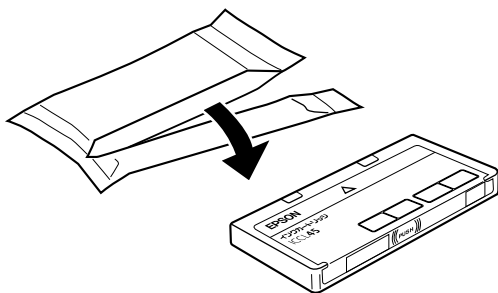
1 パネルカバーを開き、電源をオンにします。

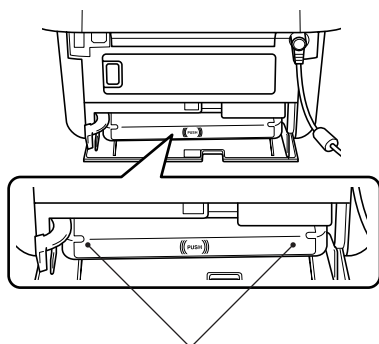
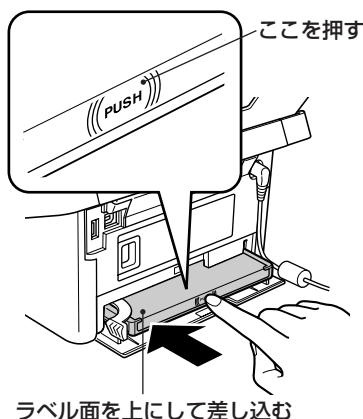
☞ 本書 26 ページ「用紙のセット」手順 1

2 インクカートリッジカバーを開きます。

3 下図を参照し、インク交換レバーを水平にスライドさせます。

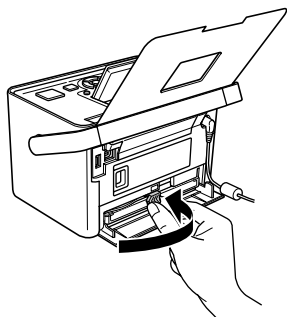
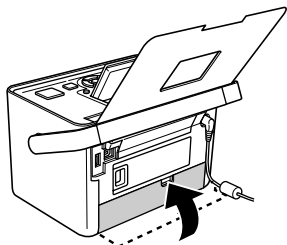
インクカートリッジが手で取り出せる位置まで排出されます。

4 インクカートリッジを引き抜きます。

参考

- 本製品は、インクが 1 色でも限界値を下回ると印刷できなくなります。印刷するデータの内容やご使用方法によっては特定のインクの消費が早くなり、他のインクが残ることがあります。
- 本製品は、インクカートリッジ内の廃インクパッド（クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品）の吸収量が限界に達すると、インクが残っていても印刷できなくなります。
  本書 114 ページ「エラー表示一覧」

5 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

6 インクカートリッジを差し込み、固定されるところまで押し込みます。

ラベル面を上にして差し込む

インクカートリッジの両端が斜めになっているときは、両端を軽く押してまっすぐに固定します。

7 下図を参照し、インク交換レバーを水平にスライドさせてロックします。

インクカートリッジがプリンタにセットされます。

8 インクカートリッジカバーを閉じます。

!注意

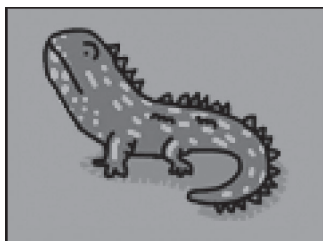
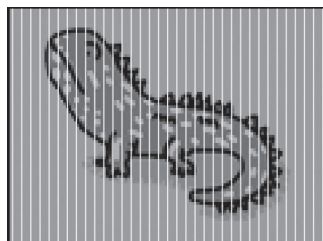
- 取り外したインクカートリッジのインク供給孔部にはインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

上手に長くお使いいただくコツ

本製品をお使いになる上で、知っておいていただきたい、取り扱いやお手入れ方法などについて説明します。

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常

目詰まり時

■プリントヘッドの乾燥を防ぐ

- 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには

· 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
. 電源のオン / オフは、必ず操作パネル上の【電源】ボタンで行ってください。

- 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

これを防ぐには

定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

- インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してしまいます。

これを防ぐには

インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

■ホコリが付かないようにする

- プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
使用しないときは、内部にホコリが入らないように、パネルカバーと排紙トレイを閉じてください。

■印刷を実行する前に

- 前ページのようにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、使用環境によっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには
印刷品質を重視する写真の印刷や、大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
☞ 本書 108 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

■用紙の取り扱いに注意し、正しくセットする

- 頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには
指定外の用紙は使用しないでください。また、折れ曲がったり、穴が開いたりした用紙は使用しないでください。なお、用紙によってセットできる枚数が異なります。以下のページでご確認ください。
☞ 本書 25 ページ「印刷できる用紙」

■クリーニングシートを通紙する

- お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが付属している場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。

①【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［メンテナンス］を選択します。
②【▲】か【▼】ボタンで［クリーニングシート通紙］を選択し、【右ガイド選択】ボタンを押します。
③ クリーニングシートをセットします。
④【右ガイド選択】ボタンを押します。
※ ③〜④の手順を 3 回程度繰り返してください。
⑤ クリーニングを終了するときは【左ガイド選択】ボタンを押します。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりする場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェックパターンの印刷と目詰まりの確認

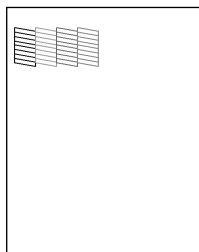
1 使用できる用紙の中からＬ判、KGサイズ、ハガキのいずれかをセットします。

本書 25 ページ「用紙のセット方法」

!注意

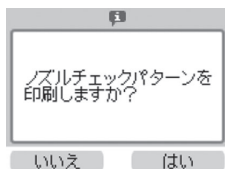
・ 本製品で使用できる用紙（本製品に付属の「メンテナンスセット」または市販の「写真用紙<光沢>」、「写真用紙エントリー<光沢>」、「インクカートリッジ＆Ｌ判写真用紙セットの写真用紙」など）をお使いください。
普通紙などは使用しないでください。製品内部に用紙が詰まり、故障につながるおそれがあります。
本書 25 ページ「印刷できる用紙」

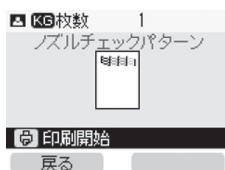
参考

・ ノズルチェックパターンは右図のように用紙の上部にのみ印刷されます。用紙のセット向き（上下）を変えることで、１枚の用紙に２回ノズルチェックパターン印刷をすることができます。

2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［メンテナンス］を選択します。

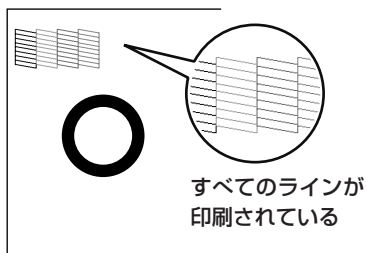
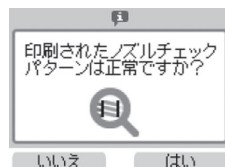
3 ［ノズルチェック］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ノズルチェック］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

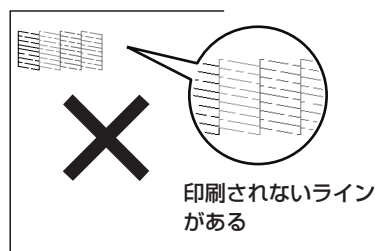
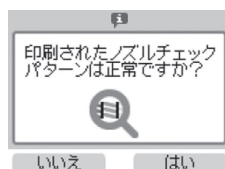
4 画面を確認し、【右ガイド選択】ボタンを押します。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

5 【印刷】ボタンを押してノズルチェックパターンを印刷します。

①【印刷】ボタンで印刷を実行

6 下図を参照して、印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

正常に印刷できた場合

ノズルは目詰まりしていません。

①【右ガイド選択】ボタンを押して
ノズルチェックを終了

・ ノズルチェックパターンが正常に印刷される場合は、きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下をご覧ください。
本書 121 ページ「印刷品質 / 結果のトラブル」

印刷されないラインがある場合

①【左ガイド選択】ボタンを押す

ノズルが目詰まりしています。

この後は以下を参照し、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。

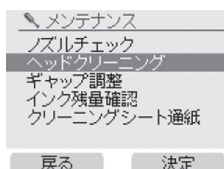
☞ 本書 111 ページ「ヘッドクリーニング」手順 3 〜手順 4

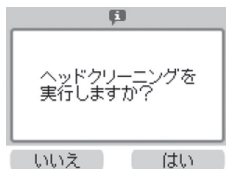
ヘッドクリーニング

参考

・ ヘッドクリーニングはインクを吐出して、プリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。

1 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［メンテナンス］を選択します。

2 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ヘッドクリーニング］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

3 画面を確認し、【右ガイド選択】ボタンを押してヘッドクリーニングを実行します。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

4 ノズルの目詰まりを再確認します。

☞ 本書 108 ページ「ノズルチェックパターンの印刷と目詰まりの確認」

参考

・ 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されない場合があります。
ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 2 回程度繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
それでも目詰まりが改善できない場合は、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

ギャップ調整

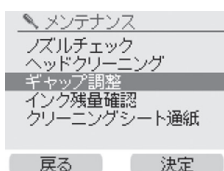
縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。以下の手順で、ギャップ調整してください。

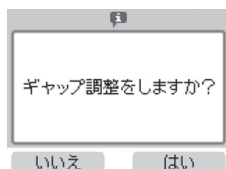
1 使用できる用紙の中からL判、KGサイズ、ハガキのいずれかをセットします。

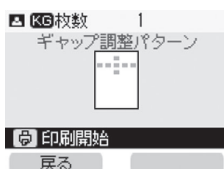
！注意

・ 必ず本製品で使用できる用紙（本製品に付属の「メンテナンスセット」または市販の「写真用紙<光沢>」、「写真用紙エントリー<光沢>」、「インクカートリッジ＆L判写真用紙セットの写真用紙」など）をお使いください。
普通紙などは使用しないでください。製品内部に用紙が詰まり、故障につながるおそれがあります。
☞ 本書25ページ「印刷できる用紙」

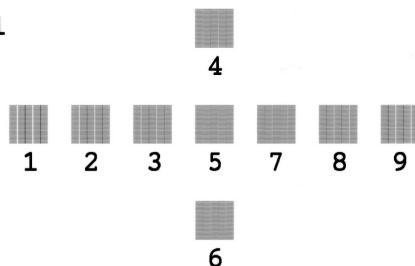
2 【メニュー】ボタンでメニュー画面を表示し、［メンテナンス］を選択します。

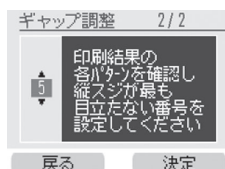
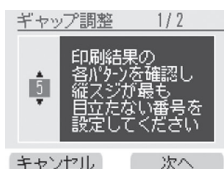
3 ［ギャップ調整］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［ギャップ調整］を選択
②【右ガイド選択】ボタンで決定

4 画面を確認し、【右ガイド選択】ボタンを押します。

①【右ガイド選択】ボタンを押す

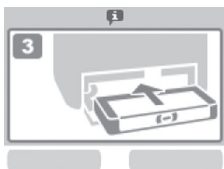
5【印刷】ボタンを押してギャップ調整パターンを印刷します。

①【印刷】ボタンで印刷を実行

6 印刷されたギャップ調整パターンを確認します。

＃ 1、＃ 2 について、それぞれもっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探します。下図の＃ 1 の例では「5」を選択します。

7 印刷結果の情報を設定します。

＃ 1、＃ 2 について、手順 6 で確認した番号を設定します。

①【▲】か【▼】ボタンで、＃ 1 で確認した番号を選択
②【右ガイド選択】ボタンで次へ

③【▲】か【▼】ボタンで、＃ 2 で確認した番号を選択

8【右ガイド選択】ボタンを押して、元の画面に戻ります。

次の印刷結果から、調整結果が反映されます。

エラー表示一覧

プリンタに何らかのトラブルが発生した場合、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。エラーメッセージが表示されたときは、下表をご覧いただき対処してください。

エラーメッセージ		対処方法
インクカートリッジ関係	インク量が限界値 以下のため カートリッジ交換が 必要です 型番［ICCL45＊］[*1]	インク残量が限界値を下回りました。 インクカートリッジを交換してください。純正品のご使用をお勧めします。 ☞ 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」
		上記のインクカートリッジ交換メッセージが表示されている状態でインクカートリッジカバーを開くと、インクカートリッジ交換手順 1 ～ 6 が順にアニメーションで表示されます。 ※左図は表示されるアニメーションの 1 コマです。
	インクが残り少なく なりました 新しいインクカートリッジ を準備してください 型番［ICCL45＊］[*1]	【右ガイド選択】ボタンを押すと写真選択画面に戻り、印刷ができるようになりますが、必要に応じて新しいインクカートリッジを準備してください。
	インクカートリッジを 認識できませんでした 正しいインクカートリッジ をセットしてください 純正品のご使用を お勧めします	インクカートリッジをセットし直してください。インクカートリッジをセットし直してもエラーが発生する場合には、インクカートリッジを交換してください。 ☞ 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」
	純正のインクカートリッジ ではありません このまま使用しますか？	エプソン純正品以外のインクカートリッジがセットされています。 本製品は、エプソンの純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。 純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。 ☞ 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」

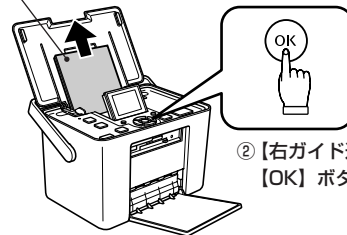
	エラーメッセージ	対処方法
インクカートリッジ関係	インクが残り少ないため クリーニングできません インクカートリッジを 交換してください	インクの残量が少ないときはヘッドクリーニングは実行できません。新しいインクカートリッジに交換してから再度ヘッドクリーニングを実行してください。 ☞ 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」
	廃インクパッドの吸収量が 限界に達しました インクカートリッジを 交換してください 型番［ICCL45＊］＊[1]	インクカートリッジ内の廃インクパッド＊[2] の吸収量が限界に達しました。新しいインクカートリッジに交換してください。 純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。 ☞ 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」
用紙関係	用紙がなくなりました 用紙を正しくセットして ［給紙開始］を選択して ください	用紙をセットし直して、【右ガイド選択】ボタンを押してください。 ☞ 本書 25 ページ「用紙のセット方法」
	用紙が詰まりました 用紙を取り除いて ［エラー解除］を選択して ください	詰まった用紙を取り除いて、【右ガイド選択】ボタンを押してください。 ☞ 本書 120 ページ「用紙が詰まった」
メモリカード関係	メモリカードが セットされて いません 保存を中止します	バックアップしたいデータの入ったメモリカードをセットしてください。 ☞ 本書 28 ページ「メモリカードのセット方法」
	メモリカードを 認識できませんでした マニュアルをご覧ください	メモリカードが本製品に対応しているかをご確認ください。 ☞ 本書 146 ページ「カードスロット仕様」
その他	プリンタエラーが 発生しました マニュアルをご覧ください	電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 また、本製品内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されないときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
	プリンタ内の部品調整が 必要です お買い上げの販売店 またはエプソンの修理窓口 までご連絡ください	お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

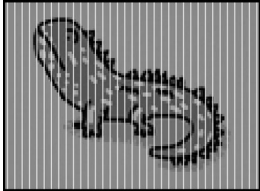
エラーメッセージ		対処方法
その他	廃インクパッドの吸収量が 限界に近づいています マニュアルをご覧ください	プリンタ内の廃インクパッド*2 の吸収量が限界に近付いています。*3 お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インクパッドの交換をご依頼ください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」 ※お客様ご自身による交換はできません。
外部機器接続時	外部機器が接続されて いないか 外部機器にメディアが セットされていません 保存を中止します	外部記憶機器が正しく接続されていること、メディアが挿入されていること、接続した機器が本製品に対応していることを確認してください。 動作確認済みの機器については、エプソンのカタログ、またはホームページをご覧ください。 ＜ http://www.epson.jp ＞
	保存先の容量が 不足しています 保存を中止します	十分な空き容量のあるメディアをセットし、再度保存を実行してください。 ☞ 本書 80 ページ「メモリカードのデータを保存（バックアップ）」
	デバイスを 認識できませんでした マニュアルをご覧ください	サポートされていないデバイスが接続されました。 本製品に接続しているデバイスを取り外してください。
	フレームデータの 読み込みに失敗しました フレーム更新を 中止します マニュアルをご覧ください	フレームデータを読み込んでいるときに、外部記憶装置またはメディアを抜いたり、本製品に振動を与えるなどすると、正常に読み込めないことがあります。再度、フレームデータを読み込んでください。 ☞ 本書 60 ページ「写真にフレームを付けて印刷＜P.I.F. 印刷＞」
	フレームデータの 書き込みに失敗しました フレーム更新を 中止します マニュアルをご覧ください	フレームデータを書き込んでいるときに、本製品に振動を与えるなどすると、正常に読み込めないことがあります。 再度、フレームデータを読み込んでください。 それでも同じエラーが発生するときは、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 ☞ 本書 60 ページ「写真にフレームを付けて印刷＜P.I.F. 印刷＞」 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
オプション	赤外線通信時に エラーが発生しました マニュアルをご覧ください	赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信をやり直してみてください。 ☞ 本書 70 ページ「携帯電話から直接印刷＜赤外線通信＞」

	エラーメッセージ	対処方法
オプション	Bluetooth モジュールエラーが 発生しました マニュアルをご覧ください	Bluetooth ユニットを装着し直してみてください。 ☞ 本書 74 ページ「Bluetooth でワイヤレス印刷 < Bluetooth ユニット−別売−>」
	データサイズが 大きすぎます マニュアルをご覧ください	送信可能な画像数・サイズを超えていないこと、お使いの Bluetooth 対応製品の規格に本製品が対応していることを確認してください。同じ Bluetooth 対応の製品でも、対応している規格（プロファイル）が異なると印刷はできません。 ☞ 本書 74 ページ「本製品と通信が可能な製品」
	データ内容が複雑すぎます マニュアルをご覧ください	
	データ内容に 問題があります マニュアルをご覧ください	
	バッテリ温度が異常です 電源をオフにして 30 分以上放置してください	バッテリの温度が異常に上昇、もしくは低下しています。室温で 30 分以上放置し、正常な温度になってからご使用ください。
	バッテリ残量がありません AC アダプタを接続して ください	バッテリの残量が不足しています。AC アダプタを使用してください。 ☞ 本書 140 ページ「バッテリ（別売）について」 ☞ 本書 24 ページ「本体の設置と電源の接続方法」
	バッテリ駆動では 外部機器への保存は できません AC アダプタを接続 してください	AC アダプタを使用してください。 ☞ 本書 140 ページ「バッテリ（別売）について」 ☞ 本書 24 ページ「本体の設置と電源の接続方法」
	バッテリ接続時に エラーが発生しました お買い上げの販売店 またはエプソンの修理窓口 までご連絡ください	プリンタ側がバッテリを正常に認識できない状態です。再度バッテリのセットをやり直してください。 それでも同じエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへお問い合わせください。 ☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

＊ 1：エプソンの純正インクカートリッジの型番。
☞ 本書巻頭「消耗品とオプション製品について」

＊ 2：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品。

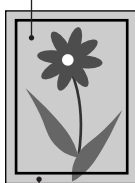
＊ 3：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インクパッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。
なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

電源 / 操作パネルのトラブル

トラブル状態	対処方法
電源がオンにならない	● 【電源】ボタンを少し長めに押してください。 ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めになっていないかをご確認ください。 ● コンセントに電源はきていますか？ ほかの電気製品の電源プラグをコンセントに差し込んで電源が入るかをご確認ください。ほかの電気製品電源が入る場合は、本製品の故障が考えられます。
液晶ディスプレイが消えてしまった	● 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。 【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。 ※本製品は 13 分以上印刷やパネル操作を行わないと、画面が消えてスリープモードになります（このとき、電源ランプは点灯しています）。ただし、エラーが表示されている場合は、スリープモードには入りません。

給紙 / 排紙のトラブル

トラブル状態	対処方法
紙送りがうまくできない	● 用紙のセット方法は正しいですか？ 以下の項目をチェックしてください。 ・用紙の端をよく揃えましたか？ ・用紙を縦方向にセットしていますか？ ・セットしている用紙の量が多すぎませんか？ 正しいセット方法をご確認ください。 ☞ 本書 25 ページ「用紙のセット方法」 ☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」 ● 本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？ 使用できない用紙を使うと、紙詰まりの原因になります。以下の項目をチェックしてください。 ・用紙にシワや折り目はないですか？ ・用紙は厚すぎたり薄すぎたりしませんか？ ・用紙が湿気を含んでいませんか？ ・用紙が反っていませんか？ 使用できる用紙をご確認ください。 ☞ 本書 25 ページ「印刷できる用紙」 ● 本製品は水平な場所に設置されていますか？ 以下の場合は、本製品の内部機構に無理な力がかかって歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。 ・設置場所が水平ではない ・設置場所と本製品の間に何か物が挟まれている ・本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出している また、一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。 ● 一般の室温環境下で使用されていますか？ 一般の室温環境下（室温：15 ～ 25 度、湿度：40 ～ 60%）以外で使用した場合は、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

トラブル状態	対処方法
紙送りがうまくできない	● 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが付属している場合には、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞ 本書 107 ページ「紙詰まりを防ぐ」－「クリーニングシートを通紙する」 ● パソコンから郵便光沢ハガキまたは郵便ハガキ（インクジェット紙）を印刷していませんか？ これらの用紙で紙送りがうまくできないときは、以下をご覧ください。 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「その他のトラブル」
用紙が詰まった	● 以下の手順で詰まった用紙を取り除き、エラーを解除してください。 ・排紙トレイ側で用紙が詰まっている場合 ① ゆっくりと手前に引き抜いた後、 OK ②【右ガイド選択】ボタンまたは【OK】ボタンを押します。 ・給紙口側で用紙が詰まっている場合 ① ゆっくりと上に引き抜いた後、 OK ②【右ガイド選択】ボタンまたは【OK】ボタンを押します。

印刷品質 / 結果のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷品質が悪い ・かすれる、スジや線が入る ・シマシマになる ・ぼやける、にじむ、濃い ・色合いがおかしい ・印刷されない色がある ・色にムラがある	● プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？ ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ☞ 本書 108 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ● インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。 ☞ 本書巻頭「消耗品とオプション製品について」 ● 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。 開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。 ● プリントヘッドのギャップがズレていませんか？ 高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。その際、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。 ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。 ☞ 本書 112 ページ「ギャップ調整」

トラブル状態	対処方法
印刷面がこすれる、汚れる	● 反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙を使用していませんか？ 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙をこする場合があります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。 なお、一部のエプソン製専用紙は、反りを修正する際に印刷面を傷つけてしまうおそれがありますので、以下のページを確認してから、反りを修正してください。 本書 25 ページ「用紙のセット方法」 ● 専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？ 専用紙は普通紙などと比べてインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。 本書 138 ページ「印刷物（印刷後）の取り扱い」
印刷位置がずれる、はみ出す	● 使用した用紙のサイズと、メニューで設定した用紙サイズは同じですか？ 実際に使用する用紙のサイズと、メニューの［用紙 / レイアウト］設定を合わせてください。 本書 35 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」 ● 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？ 一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 本書 25 ページ「用紙のセット方法」

トラブル状態	対処方法
四辺フチなし印刷ができない	● ［用紙 / レイアウト］の設定で、フチなし印刷をするように設定しましたか？ メニューの［用紙 / レイアウト］で、レイアウトの設定を［1 面フチなし］に設定して印刷してください。 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」 ● 規格サイズ*よりも長さが短い用紙を使っていませんか？ 規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、本製品は用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。規格サイズの用紙をお使いください。 ＊：ハガキ：100 × 148mm/L 判：89 × 127mm KG：101.6 × 152.4mm/ カード：54 × 86mm ハイビジョンサイズ：102 × 181mm ● 元の写真データに余白が入っていませんか？ 元の写真データをご確認ください。 なお、画像の縦横比を調整するために、デジタルカメラなど（データを送信する機器）で自動的に余白が付加される場合もあります。

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>写真がきれいに印刷できない
・モザイクがかかったように印刷される
・印刷の目が粗い（ギザギザしている）</td><td>● 写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？
デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。
画像サイズに適した印刷サイズは以下のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">デジタルカメラの画素数</th><th rowspan="2">標準的な画像サイズ（ピクセル）</th><th colspan="2">印刷サイズの目安</th></tr>
<tr><th>カード</th><th>L 判</th></tr>
<tr><td>約 130 万画素</td><td>1280 × 1024</td><td>◎</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>約 200 万画素</td><td>1600 × 1200</td><td>□</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>約 300 万画素</td><td>2048 × 1536</td><td>□</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>約 400 万画素</td><td>2240 × 1680</td><td>□</td><td>◎</td></tr>
<tr><td>約 500 万画素</td><td>2560 × 1920</td><td>＊</td><td>□</td></tr>
<tr><td>約 600 万画素</td><td>2816 × 2120</td><td>＊</td><td>□</td></tr>
<tr><td>約 700 万画素</td><td>3072 × 2304</td><td>＊</td><td>□</td></tr>
<tr><td>約 800 万画素</td><td>3250 × 2450</td><td>＊</td><td>□</td></tr>
</table>

◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
＊：良好な印刷結果が得られるが、印刷結果向上のためにはこれほど多くの画素は必要なし。</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法
四辺フチなし印刷時に写真の端が切れて印刷される	● フチなし印刷は、原稿や写真データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。 本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。 なお、はみ出し量の調整は以下をご覧ください。 ☞ 本書 88 ページ「フチなしはみ出し量の調整」

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
メモリカードが認識されない	● メモリカードをセットしてから認識されるまでに時間がかかることがあります。 メモリカードを取り出さずに、しばらくお待ちください。 本書 28 ページ「メモリカードのセット方法」 ● メモリカードは正しくセットされていますか？ メモリカードのセットが浅すぎたり、セットの向き（表裏）が間違っていると認識されません。正しくセットされていることを確認してください。 本書 28 ページ「メモリカードのセット方法」
ヘッドクリーニングが動作しない	● 本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。 また、インクがないときや残り少ないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 114 ページ「エラー表示一覧」 本書 99 ページ「インクカートリッジの交換」
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	● 高温によるプリンタ内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*に、プリンタの動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなった場合は、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※ 印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ※ 電源をオフにして放置しても、印刷速度は回復しません。 ＊： 30 分以上、印刷し続けている状態（時間は印刷状況によって異なります）。
排紙トレイが閉まらない	● メモリカード取り出しボタンが飛び出た状態のままになっていませんか？ メモリカード取り出しボタンが飛び出ているときは、奥まで押し込んでから排紙トレイを閉めてください。 本書 30 ページ「メモリカードの取り出し」

トラブル状態	対処方法
バッテリ使用時に自動的に電源がオフになってしまった	● 何も操作をしない状態が 15 分以上続いていませんでしたか？ バッテリ使用時に、何も操作しない状態が約 15 分続くと自動的に電源が切れ、バッテリの無駄な消費を防ぎます。 ただし、以下のときにはオートパワーオフ機能は動作しません。 ・プリンタにメモリカードがセットされ、かつパソコンに接続されているとき。 ・エラーが表示されているとき。

バッテリに関するトラブル

トラブル状態	対処方法
バッテリがすぐに終わってしまう	● 使用する前に充電しましたか？ プリンタを使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをおすすめします。 ● バッテリが低温の状態でお使いではありませんか？ バッテリの特性上、十分に充電された状態でも、バッテリが低温になると使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて温めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないようご注意ください。 ● 低温または高温の場所で充電しませんでしたか？ 充電は、周囲の温度が 10℃～ 35℃の場所で行ってください。低温または高温の場所で充電すると、十分な充電ができなかったり、バッテリの劣化につながることがあります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。 新しいバッテリをお買い求めください。
バッテリが温かくなる	● 充電直後または使用直後ではありませんか？ 充電直後や使用直後はバッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
プリンタの電源がオンにならない（電源ランプが一瞬点灯して消えてしまう）	● バッテリは充電されていますか？ お使いいただく前にはバッテリを充電してください。 ● バッテリをプリンタにしっかりとセットしましたか？ バッテリが正しくセットされていないと正常に動作しません。バッテリをプリンタから取り外し、セットし直してください。 ☞ 本書 142 ページ「バッテリの取り外し」 ☞ 本書 141 ページ「バッテリのセット」

パソコンと接続時のトラブル

パソコンから印刷ができないときは、活用＋サポートガイド（電子マニュアル）をご覧ください。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「トラブル対処方法」

プリンタドライバのインストール状態を確認（Windows）

Windows 環境でお使いの場合には、プリンタドライバ（印刷を行うために必要なソフトウェア）が正しくインストールされていない、または印刷先のポートが正しく設定されていない可能性があります。
以下の手順でプリンタドライバのインストール状態と、ポートの設定状態を確認してください。

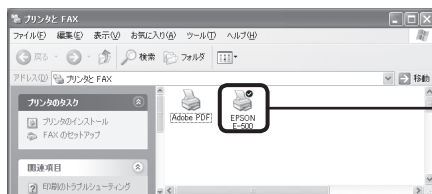
■ プリンタドライバのアイコンを確認

1 USB ケーブルで本製品とパソコンをしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

2 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows XP の場合
［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

3 ［E-500］のアイコンがあるかを確認します。

［E-500］のアイコンがある

プリンタドライバは正常にインストールされています。

次に印刷先ポートの設定を確認してください。
☞ 本書 131 ページ「印刷先のポートの設定を確認」

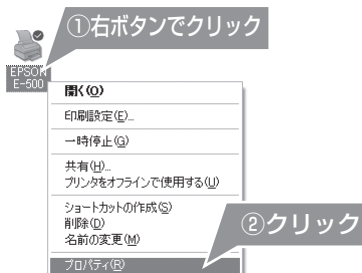
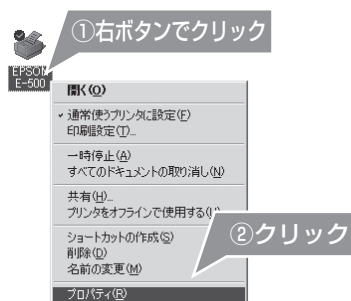
［E-500］のアイコンがない

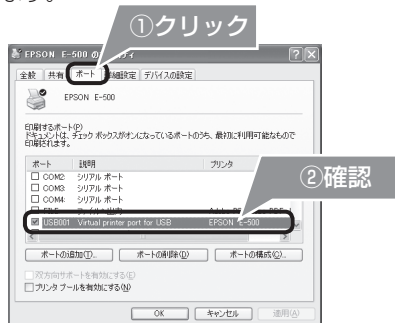
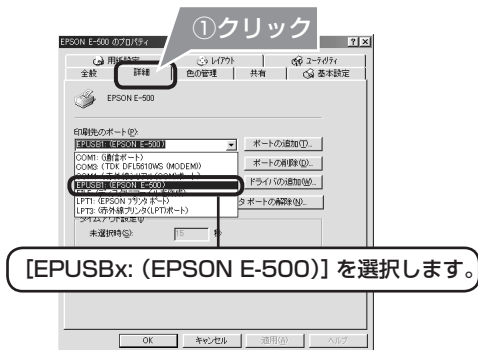
プリンタドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 133 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

■ 印刷先のポートの設定を確認

1 E-500のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

Windows XP の場合

Windows 98/Me/2000 の場合

2 ポートの設定を確認します。

Windows XP/2000 の場合
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON E-500］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

Windows 98/Me の場合
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx: (EPSON E-500)］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

困ったときは（トラブル対処方法）

USB ポートが選択されている

Windows 2000/XP の場合
複数の USB ポート（[USBxxx EPSON E-500]）が表示されている場合は、別の USB ポートを選択して印刷をお試しください。それでも印刷できない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

Windows 98/Me の場合
ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 133 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

USB ポート以外が選択されている

USB ポート（[USB］と［EPSON E-500］が表示されているポート）を選択し、印刷ができるかどうかを確認してください。

印刷できなかった場合は、ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 133 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

USB ポートがない

USB ポート（[USB］と［EPSON E-500］が表示されているポート）がない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。

ドライバをインストールし直してください。
☞ 本書 133 ページ「ドライバの再インストール（Windows）」

！注 意

・［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

ドライバの再インストール（Windows）

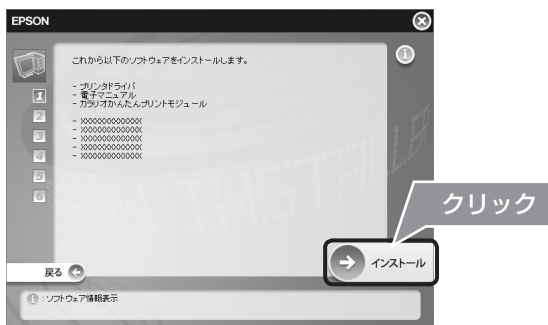
1 本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了します。

3 『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。

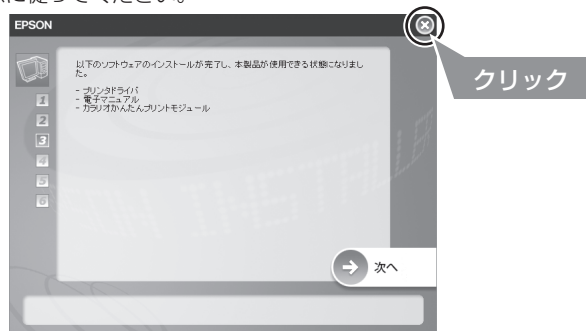
4 以下の画面が表示されますので、［おすすめインストール］をクリックします。

5 ［インストール］をクリックします。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考

・ 電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。をクリックして画面を閉じます。

その後は画面の指示に従ってください。

・ アプリケーションソフトを再インストールする場合は、［次へ］をクリックします。

7 インストールが終了したら、印刷を実行してみてください。

トラブルが解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、プリンタドライバと同時にインストールされた『E-500 活用＋サポートガイド』をご覧ください。
『E-500 活用＋サポートガイド』の「トラブル対処方法」には、本書に載っていないトラブルの対処方法が記載されています。
☞ 本書 98 ページ「活用＋サポートガイドの表示方法」

インターネットに接続できる場合

『E-500 活用＋サポートガイド』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をお勧めします。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。
ぜひご活用ください。＜ http://www.epson.jp/faq/ ＞
上記『E-500 活用＋サポートガイド』の「インターネット FAQ のご案内」からも接続できます。

プリンタ本体が故障していないかをご確認ください

ノズルチェックパターンを印刷し、本体の動作や印刷機能に問題がないかをご確認ください。
ノズルチェックパターンの印刷方法は、以下をご覧ください。
☞ 本書 108 ページ 「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

ノズルチェックパターンが印刷できた

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。
☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境（パソコンの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称をご確認の上ご連絡ください。

ノズルチェックパターンが印刷できない

故障している可能性があります。
お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」

修理へ出す際は、以下をご確認ください。
☞ 本書 136 ページ「修理 / アフターサービスについて」
☞ 本書 139 ページ「本製品を持ち運ぶときは」

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

☞ 本書裏表紙「本製品のお問い合わせ先」
☞ 本書 137 ページ「マニュアルデータのダウンロードサービス」

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは（トラブル対処方法)」、および『E-500 活用＋サポートガイド』の「トラブル対処方法」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ず確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、本体が故障していないかご確認の上、お問い合わせください。

修理 / アフターサービスについて

■保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。

※ 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

■保守サービスに関しての受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

・お買い求めいただいた販売店

・エプソン修理センター（本書裏表紙の一覧表をご覧ください）

受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く） 9：00 ～ 17：30

■保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	・指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

■製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。製造番号は、プリンタ底面に貼られているラベルに表示されています。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に付属しておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
＜ http://www.epson.jp/guide/ink/ ＞

印刷物（印刷後）の取り扱い

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

・ 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙に付属の取扱説明書をご覧ください。

乾燥方法

印刷後は、印刷面が重ならないように注意して十分に乾燥させてください。やむをえず重ねて乾燥させる場合は、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ挟んでください。
十分に乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。

!注 意

・ ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
・ 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後はすみやかに保存・展示を行ってください。

■クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存
光や空気が遮断されるため、変色の度合いをきわめて低く抑えることができます。

■ガラス付き額縁に入れて展示
空気が遮断されるため、変色の度合いを抑えることができます。

・ ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
・ 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
・ ミニフォトシールを保存するときは、吸湿性のあるコピー用紙などに挟んでクリアファイルに入れてください。

本製品を持ち運ぶときは

1 本製品からメモリカードを取り出し、用紙を取り除きます。

2 電源をオフにします。

3 パネルカバーと排紙トレイを閉じます。

4 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを外します。

パソコンと接続している場合は、USB ケーブルを取り外します。

5 取っ手を持って持ち運びます。

『どこでも簡単プリントガイド』を本製品と一緒に持ち運ぶと便利です。

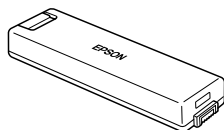
！注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具に近い場所、自動車内などの高温になる場所に放置しないでください。本体が変形したり、インク漏れの原因になることがあります。
- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- 保護材の取り付け時、輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。インク漏れの原因になります。
- 持ち運びの際には、振り回したりぶつけたりしないようにご注意ください。

参考

- 輸送（郵送など）する場合はプリンタを衝撃などから守るために保護材を取り付け、水平に梱包箱に入れて輸送してください。
- 輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞ 本書 108 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

バッテリ（別売）について

オプションのリチウムイオンバッテリ（MEALB2）を使うと、AC アダプタを接続しなくても印刷することができます。バッテリをご使用になる前には、必ずバッテリの取扱説明書をお読みください。

リチウムイオンバッテリ
（型番：MEALB2）

⚠警告	・本製品に適合しないバッテリのご使用は爆発の危険性があります。 ・エプソン純正品以外のバッテリは、弊社による安全上の確認ができておりません。純正品のご使用をお勧めします。なお、エプソンが指定する純正品以外のバッテリに起因する故障、爆発、発火等の事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、保証期間内であっても有償修理となります。

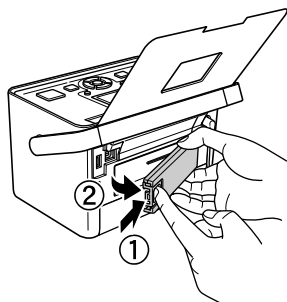
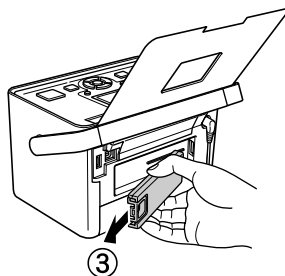
バッテリ使用上のご注意

・バッテリは購入時には充電されていませんので、お使いいただく前に必ず充電してください。
・プリンタを使用していないときでも、バッテリは少しずつ放電しています。お使いいただく前にはバッテリを充電することをお勧めします。
・バッテリの特性上、十分に充電された状態でも、バッテリが低温になると使用時間が短くなります。バッテリをポケットに入れて温めたり、予備のバッテリを用意するなどしてください。なお、カイロなどをご使用になるときは、カイロがバッテリに直接触れないよう、ご注意ください。
バッテリを充電するときは、事前に放電したり、使い切る必要はありません。
・充電直後や使用直後は、バッテリが温かくなることがありますが、異常ではありません。
・充電は､周囲の温度が 10℃～ 35℃の場所で行ってください。低温または高温の場所で充電すると、十分な充電ができなかったり、バッテリの劣化につながることがあります。
・十分に充電しても使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリの寿命と考えられます。このときは新しいバッテリをお買い求めください。
・長期間使用しないときは、過放電を避けるためプリンタからバッテリを取り外して保管してください。また、バッテリは高温の場所や湿度の高い場所を避けて保管してください。
・不要になったバッテリは , 捨てないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。なお、バッテリパックは＋極、－極の金属端子部をテープなどで絶縁し、分解せずにリサイクル箱へお出しください。
詳細については、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
< http://www.JBRC.com >

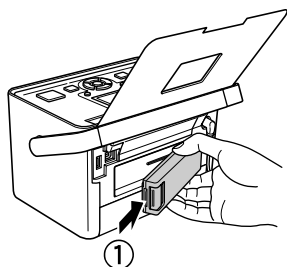
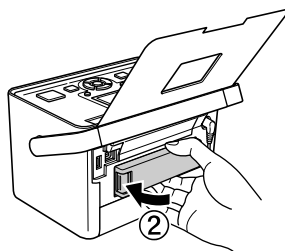
Li-ion

バッテリのセット

1 電源をオフにして、バッテリカバーを取り外します。

③

① ロックを外し、
② バッテリカバーを手前に引く

③ バッテリカバーを取り外す
※ 取り外したバッテリカバーは紛失しないよう保管してください

2 バッテリをセットします。

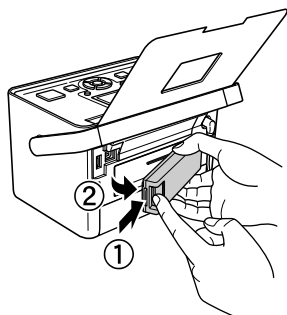
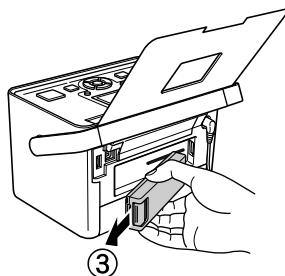
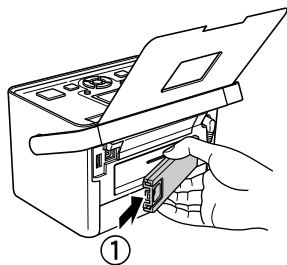
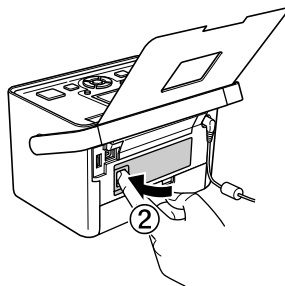
②

① バッテリの金属端子側を右側に向け、プリンタに引っかける

② カチッというまで押し込む

バッテリの取り外し

本製品を使用しないときは、バッテリを取り外しておくことをお勧めします。

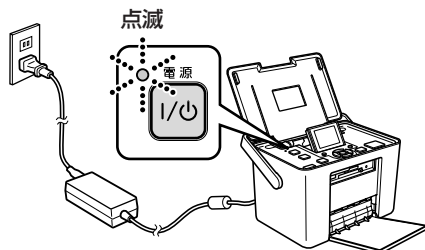
1 バッテリを取り外します。

① ロックを外し、
② バッテリを手前に引く

③ バッテリを取り外す

2 バッテリカバーを取り付けます。

① バッテリカバーの突起側を引っかける

② カチッというまで押し込む

充電方法

本製品にバッテリを取り付け、AC アダプタを接続することで充電ができます。

参考

バッテリの充電状態（残量）は以下の方法で確認することができます。
電源オフ時：充電中は電源ランプが点滅し、充電が完了すると電源ランプが消灯します。
電源オン時：液晶ディスプレイ右上にアイコンが表示されます。

アイコン	状態
	バッテリ残量が 81 ～ 100% です。
	バッテリ残量が 41 ～ 80% です。
	バッテリ残量が 21 ～ 40% です。
※赤色点灯	バッテリ残量が 11 ～ 20% です。
※点滅	バッテリ残量が 6 ～ 10% です。
	AC アダプタが接続されていて、バッテリは満充電状態です。
※点滅	AC アダプタが接続されていて、バッテリは充電中です。

・ 充電時間は最大約 2 時間半です。
・ 印刷可能時間は約 100 分、印刷可能枚数は L 判で約 120 枚、KG サイズで約 100 枚です。
※ 印刷できる時間や枚数はメモリカードの種類やデータのサイズ、その他の状況によって異なります。上記は次の条件で測定したときのおよその数値です。
　バッテリ：新品のバッテリを満充電で使用
　気温：25℃
　印刷方法：メモリースティックから写真用紙＜光沢＞ KG サイズに連続印刷

■オートパワーオフ機能について

バッテリ使用時に、何も操作しない状態が約 15 分続くと自動的に電源が切れ、バッテリの無駄な消費を防ぎます。ただし、以下のときにはオートパワーオフ機能は動作しません。

・ プリンタにメモリカードがセットされ、かつパソコンに接続されているとき。
・ エラーが表示されているとき。

製品仕様

■プリンタ部基本仕様

ノズル配列	90 ノズル× 4 色 （イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	5760 ＊1 × 1440dpi（パソコン印刷時のみ） 720 ＊2 × 720dpi（メモリカード、外部機器印刷時） ＊ 1：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。 ＊ 2：最小 1/720 インチのドット間隔で印刷します。
紙送り方式	ASF 方式フリクションフィード
入力データバッファ	256KByte

■インクカートリッジ仕様

形態	4 色一体型インクカートリッジ
型番	ICCL45/ICCL45B
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6 ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内） 本体装着時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 150mm ×奥行き 92mm ×高さ 17.12mm

・ インクは－ 15℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
・ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。
・ 初めて取り付けるインクカートリッジでは、本製品を印刷可能な状態にするためにもインクが使用されるため、2 回目以降に取り付けるインクカートリッジに比べて印刷できる枚数は少なくなります。

■電気関係仕様

< AC アダプタ電気仕様>

型名	A381H
定格電圧	AC100 － 240V
定格周波数	50 － 60Hz
定格電流	0.8 － 0.4A
定格電力	42W
出力	DC20V、1.68A

＜定格＞

	AC アダプタ使用時		オプションバッテリ（別売）使用時
	オプションバッテリ（別売）非装着時	オプションバッテリ（別売）装着時	
DC 定格入力電圧	DC20V	DC20V	DC14.8V
DC 定格入力電流	1.0A	1.6A	1.1A

＜プリンタ電気仕様（AC アダプタ使用時）＞

		オプションバッテリ（別売）非充電時		オプションバッテリ（別売）充電時	
		AC100 − 120 V 入力	AC220 − 240 V 入力	AC100 − 120 V 入力	AC220 − 240 V 入力
消費電力	連続印刷時	19W	19W	34W	33W
	低電力モード	4.0W	4.0W	24W	24W
	電源オフモード	0.4W	0.4W	25W	25W
定格入力電流（連続印刷時）		0.4A（Max0.5A）	0.2A（Max0.3A）	0.7A（Max0.8A）	0.4A（Max0.5A）

■総合仕様

プリントヘッド寿命	60 億ショット（1 ノズルあたり）
温度	動作時：10℃～ 35℃ 保存時：− 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時：5 ～ 85%（非結露）
湿度（%） 80 55 20 ／ 温度（℃） 10 27 35 ／ **この範囲で使用してください**	
製品質量	約 2.4kg（インクカートリッジ、AC アダプタは除く）
製品外形寸法*	幅 215mm ×奥行き 152mm ×高さ 144.6mm（収納時） 幅 215mm ×奥行き 338.7mm ×高さ 261.2mm（使用時）

＊：記載されている寸法は、取っ手、ASF 背面突起部、ゴム足を含みません。

■ USB インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.1（プリンタ部） Universal Serial Bus Mass Storage Class Bulk-Only Transport Revision 1.0（ストレージ部）		
転送速度	480Mbps（High Speed Device）		
適合コネクタ	USB Series B		
入力コネクタにおける信号の配列および信号の説明			
ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	－	ケーブル電源、最大電流 2mA
2	－ DATA	双方向	データ
3	＋ DATA	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して ＋ 3.3V にプルアップ
4	Ground －	－	ケーブルグラウンド

■カードスロット仕様

カードスロット規格対応	メモリカード
CF Type II スロット（CF+ and CompactFlash Specification Revision 1.4 準拠）	CompactFlash（3.3V、メモリカードのみ） Microdrive
Memory Stick スロット （Memory Stick Standard version 1.3 準拠）	Memory Stick（最大容量 128MB、メモリーセレクト機能付き含む） Memory Stick Duo * MagicGate Memory Stick （最大容量 128MB、著作権保護機能は非サポート） MagicGate Memory Stick Duo * （著作権保護機能は非サポート）
Memory Stick PRO スロット （MemoryStick Standard Memory Stick PRO Format Specifications Version1.0 準拠）	Memory Stick PRO （著作権保護機能、高速転送機能は非サポート） Memory Stick PRO Duo * （著作権保護機能、高速転送機能は非サポート）
SD/SDHC スロット（SD Memory Card Specifications/ PART1. Physical Layer Specification Version2.0 準拠）	SD メモリーカード（最大容量 2GB） SDHC メモリーカード（最大容量 32GB） miniSD カード（最大容量 2GB）* miniSDHC カード（最大容量 32GB）* microSD カード（最大容量 2GB）* microSDHC カード（最大容量 32GB）*

カードスロット規格対応	メモリカード
MMC スロット（MultiMedia Card Standard 準拠）	MultiMedia Card
xD-Picture Card スロット（xD-Picture Card ™ Card Specification Version 1.20 Type M card/Type H card 準拠）	xD-Picture Card ™ xD-Picture Card ™ Type M xD-Picture Card ™ Type H

＊：必ず専用アダプタを使用して、本製品にセットする。

● 対応電圧

3.3V 専用または 3.3V/5V 兼用、供給電圧は 3.3V のみ対応

※ 3.3V/5V 兼用メディアへは 3.3V を供給　※メモリカードへの供給電流は最大 500mA

※ 5V タイプのメモリカードは非サポート

● 印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下のとおりです。

デジタルカメラ	DCF＊[1] Version1.0 または 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF＊[1] Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG＊[2] 形式、TIFF＊[2] 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 ～ 9200 ピクセル、縦 80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

＊ 1：DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。

＊ 2：Exif Version2.21 準拠。

付録

■ダイレクト印刷仕様

デジタルカメラから USB 接続でダイレクトプリントを行う際は、以下の点にご注意ください。

対応規格

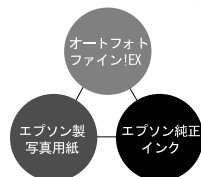
・ USB DIRECT-PRINT
・ PictBridge

注意

・ お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
・ 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」＊[1]などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません）。
・ セピアまたはモノクロで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。デジタルカメラ側で「プリント効果：イメージオプティマイズ」＊[2]の設定ができる場合は、「標準設定」＊[1]に設定してください。
・ TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。

＊１：本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。
　　例：「標準設定」「プリンタ指定」など）
＊２：色合いなどの調整をする設定項目（設定項目名はデジタルカメラによって異なります。
　　例：「プリント効果：イメージオプティマイズ」「印刷補正」など）

Epson Color について

エプソンお薦めの写真品質

Epson Color とは、エプソンお薦めの写真品質のことです。人物の顔を自動判別し、肌色を中心に写真の色合いをきれいに自動補正する「オートフォトファイン !EX＊」と耐オゾン性、耐光性に優れる「エプソン純正インク」、そして美しい仕上がりを誇る「エプソン製写真用紙」が組み合わさることで実現されます。

＊：オートフォトファイン !EX は人物写真だけでなく、風景写真もより鮮やかな色合いに自動補正します。

参考

- 補正や加工は印刷時に処理されるだけで、データそのものは補正 / 加工されません。
- オートフォトファイン !EX は、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、四辺フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
- 印刷する画像に Exif Print の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた画像補正を行います。
- 「オートフォトファイン !EX」はセットアップ画面では「オートフォトファイン」と表記しています。

Epson Color で印刷するためには

Epson Color で印刷するためには、Epson Color 対応用紙に印刷してください。

Epson Color 対応用紙

・写真用紙クリスピア＜高光沢＞　・写真用紙＜光沢＞　・写真用紙エントリー＜光沢＞
・写真用紙＜絹目調＞　・写真用紙＜絹目調＞はがき＊

＊：宛名面はパソコンからの印刷にのみ対応

印刷手順

① メニューから［自動画質補正］を選択し、［オートフォトファイン !EX］または［人物］を選択します。
☞ 本書 51 ページ「画質を自動補正して印刷」

② 本製品に Epson Color 対応用紙をセットし、［用紙サイズ・種類］で対応の用紙を選択すれば、Epson Color で印刷されます。
☞ 本書 34 ページ「セットした用紙とレイアウトの設定方法」

以上で、Epson Color の説明は終了です。

索引

数字

アルファベット

五十音

Appleの名称、MacintoshはApple Computer,Inc.の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

MagicGate、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティックDuo、メモリースティック、メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、およびMEMORY STICK PRO、Memory Stickロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
SDメモリカード、SDロゴは、株式会社　東芝、松下電器産業株式会社、米国SanDisk社の商標です。
xD-Picture Card、xD-Picture Cardロゴは富士写真フイルム株式会社の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Bluetoothは、その権利者が保有している商標であり、セイコーエプソン株式会社は、ライセンスに基づき使用しています。
EPSON PRINT Image Matching、PRINT Image Framerは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
本文中で用いるP.I.F.はPRINT Image Framerの略称です。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000と表記しています。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XPと表記しています。
また、Windows Me、Windows 2000、Windows XPを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は、「Windows 98/Me」のようにWindowsの表記を省略することがあります。
本製品が対応しているMac OSのバージョンは、Mac OS X v10.2.8以降です。
本書中では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記していることがあります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理･保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること
次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品のお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
【電話番号】　050-3155-8011
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、042-589-5250におかけください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。
【電話番号】　0570-090-090
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ（株）の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電各社へご依頼ください。また、携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*松本修理センターは365日受付可（平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします）
*ドアtoドアサービスついて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンOAサプライでお買い求めください。
（ホームページアドレスhttp://epson-supply.jpまたはフリーコール0120-251-528）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532　大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（IJP）　2006. 5

MEMORY STICK ™

MEMORY STICK PRO

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

410808500

Printed in XXXXX XX.XX-XX XXX